



配布資料はこちらから
ダウンロード可能です

2026-27年度のための 国際ロータリー第2660地区 地区チーム・ラーニングセミナー

日 時 : 2026年2月7日(土) 14:00~19:00

会 場 : シティプラザ大阪 2階 「旬」及び「燐」

(敬称略)

内 容	担 当	
開会・点鐘	ガバナー	吉川 健之
出席者紹介	2026-27年度地区代表幹事	渋川 了
開会挨拶	ガバナー	吉川 健之
2026-27年度 地区運営・活動方針 及び RI会長メッセージ	2026-27年度 ガバナー	横田 孝久
2026-27年度 地区予算の概要	2026-27年度 地区財務委員長	吉城 直孝
地区チームの役割と責務	パストガバナー	宮里 唯子
休憩		
地区委員会活動の合理化と効率化	2026-27年度 地区クラブ奉仕委員会 新クラブ結成小委員会委員長	近藤 太郎
地区委員会活動における危機管理	パストガバナー 2025-26年度 地区危機管理委員会委員長	延原 健二
委員会活動に関するお知らせ事項	2026-27年度地区代表幹事	渋川 了
ガバナーノミニー挨拶	ガバナーノミニー	吉村 昭
ガバナーノミニー・デジグネット挨拶	ガバナーノミニー・デジグネット	村橋 義晃
閉会点鐘	ガバナー	吉川 健之
休憩・移動		
委員会別協議 活動計画・RI会長メッセージと 地区年次目標を受けて	各委員会	
休憩移動		
懇親会		
終了		

配布資料一覧

- ① 出席者一覧表
- ② 2026-27年度 RI会長経歴 RI会長メッセージ
- ③ 2026-27年度 ガバナー経歴
- ④ 地区ビジョン／2026-27年度 地区年次目標
- ⑤ 2026-27年度 地区予算の概要および地区委員会 財務ルール
- ⑥ 2026-27年度地区予算（案）
- ⑦ 地区チームの役割と責務
- ⑧ 地区委員会活動の合理化と効率化
- ⑨ 地区委員会活動における危機管理
- ⑩ 委員会活動に関するお知らせ事項および
2026-27年度 地区組織・地区行事・委員会取り決め事項
- ⑪ 2026-27年度 地区委員会に関する地区方針
- ⑫ 2026-27年度 地区ロータリー財団委員会に関する地区方針
- ⑬ 2026-27年度 地区主要行事一覧（予定）
- ⑭ 2026-27年度 地区組織図（案）

[2026-27年度のための地区チーム・ラーニングセミナー 出席者一覧表①]

(敬称略)

ガバナー	吉川 健之	大阪北	次年度地区幹事	竹中 照次	東大阪
パストガバナー	片山 勉	大阪東	次年度地区幹事	村岡 修	東大阪
パストガバナー	山本 博史	大阪南	次年度地区幹事	加茂 次也	東大阪
パストガバナー	簡 仁一	茨木	次年度地区幹事	岩佐 嘉昭	東大阪
パストガバナー	宮里 唯子	茨木西	次年度地区幹事	松田 和人	東大阪
パストガバナー	延原 健二	大阪大淀	次年度地区幹事	嶋田 薫	東大阪
ガバナーエレクト	横田 孝久	東大阪	次年度地区幹事	前川 経雄	東大阪
ガバナーノミニー	吉村 昭	大阪平野	次年度地区幹事	山田 茂樹	東大阪
ガバナーノミニー・デジグネット	村橋 義晃	大阪朋友	次年度地区幹事	市村 優次	東大阪
I.M.第1組ガバナー補佐エレクト	芝野弘三郎	箕面	次年度地区幹事	美濃 弘和	東大阪
I.M.第2組ガバナー補佐エレクト	望田 成彦	摂津	次年度地区幹事	阪口 誠	東大阪
I.M.第3組ガバナー補佐エレクト	大東 将啓	枚方	次年度地区幹事	轟原 伸哉	東大阪
I.M.第4組ガバナー補佐エレクト	松尾 治	東大阪西	次年度地区幹事	西村 元理	東大阪
I.M.第5組ガバナー補佐エレクト	土井 靖士	大阪うつぼ	次年度地区幹事	西居慎一郎	東大阪
I.M.第6組ガバナー補佐エレクト	北村 佳久	大阪東南	次年度地区幹事	井上 裕介	東大阪
I.M.第1組ガバナー補佐ノミニー	植田 昌克	大阪北	次年度地区幹事	川村 傑	東大阪
I.M.第3組ガバナー補佐ノミニー	神田 隆司	守口	次々年度地区代表幹事	北井 雄大	大阪平野
I.M.第4組ガバナー補佐ノミニー	脇 隆俊	大阪御堂筋本町	次々年度地区幹事	石橋 司也	大阪平野
I.M.第5組ガバナー補佐ノミニー	高木 健	大阪西	次々年度地区幹事	岡田 修一	大阪平野
I.M.第6組ガバナー補佐ノミニー	岡部 優正	大阪城南	次々年度地区幹事	田島 暢	大阪平野
地区ラーニング委員会 委員	中村 一	大阪船場	次々年度地区幹事	眞田 和浩	大阪平野
地区ラーニング委員会 委員	徳山 善雄	大阪リバーサイド	次々年度地区幹事	大西 浩平	大阪平野
地区ラーニング委員会 委員	相崎 秀樹	大阪西	次々年度地区幹事	河村由紀子	大阪平野
地区ラーニング委員会 委員	伊藤 勝彦	大阪南	次々年度地区幹事	山根 平暮	大阪平野
地区ラーニング委員会 委員	高瀬久美子	大阪城北	次々年度地区幹事	三好 賢	大阪平野
地区危機管理委員会 副委員長	間石 成人	高槻西	次々年度地区幹事	佐藤 太一	大阪平野
			オブザーバー	井本 万尋	大阪朋友
次年度地区代表幹事	渋川 了	東大阪			
次年度地区副代表幹事	石橋 英司	東大阪	次年度 地区ローターアクト代表	高野 新平	大阪エバーソルティ RAC
次年度地区副代表幹事	大島 規弘	東大阪	次年度 地区副幹事(東ゾーン)	堀 有伽	大阪東RAC
次年度地区副代表幹事	浅井 勝史	東大阪			
次年度地区副代表幹事	高橋 雅子	東大阪			
次年度地区財務委員長	吉城 直孝	東大阪			
次年度地区会計	河野 裕	東大阪			
クラブ会長	奥田 昌義	東大阪			
				出席者 : 198名	

[2026-27年度のための地区チーム・ラーニングセミナー 出席者一覧表②]

(敬称略)

委員会名	役職	氏名	クラブ名	委員会名	役職	氏名	クラブ名
クラブ奉仕	委員長	福田 忠	大阪難波	青少年交換	委員長	藤原 史嗣	東大阪西
	会員増強小委員長	市村 優次●	東大阪		副委員長	八木 雄毅	大阪西
	交流活性化小委員長	深井 喜久	大阪北		副委員長	山下 真知	大阪平野
	新クラブ結成小委員長	近藤 太郎	大阪西		副委員長	住吉 依子	大阪うつぼ
	委員	帆足 嘉寿大	東大阪中央		副委員長	赤阪 靖之	大阪天王寺
	委員	大和田 雅江	大阪西		副委員長	津村 昌明	茨木西
	委員	山崎 修一	大阪鶴見		委員	山野 拓也	大阪そねざき
	委員	朝川 恵輔	くすは		委員	川浦 文彦	大阪難波
	委員	岩本 浩一	大阪北		委員	柳瀬 寛之	大阪城東
	委員	藤河 和子	大阪中央		委員	阪上 武仁	東大阪中央
	委員	嘉納 秀造	大阪北		委員	村岡 修	東大阪
	委員	清水 雄一郎	大阪北		委員	下園 大介	高槻西
	委員	源本 将人	くすは		委員	源 壽美子	大阪鶴見
	委員	森田 邦治	大阪心斎橋		委員	内藤 恵	東大阪東
	委員	木下 恵里	大阪御堂筋本町		委員	大橋 綾子	枚方
	委員	濱中 真希子	大阪北梅田		委員	阿江 秀典	大阪西北
	委員	藤本 裕介	大阪西		委員長	奥村 雅一	池田くれは
公共イメージ向上	委員長	伊藤 芳晃	大阪南	インタークト	副委員長	小川 健一郎	大阪
	副委員長	三井 泰之	高槻		副委員長	江澤 由	高槻
	副委員長	中嶋 茂夫	大阪中央		委員	齋田 淳子	大阪西南
	副委員長	荒川 弘也	大阪そねざき		委員	磯田 郁子	大阪東淀ちややまち
	委員	岡 美里	大阪アーバン		委員	田中 康正	八尾
	委員	矢倉 孝二	大阪大淀		委員	小浦 芳生	大阪
	委員	大倉 基文	門真		委員	中瀬 渉	大阪天王寺
	委員	稗田 裕之	大阪平野		委員	谷村 一行	大阪南
	委員	杉浦 正宏	大阪北		委員	楊井 広之	大阪南
	委員	中村 忠則	大阪西		委員	今井 茂博	大阪東
職業奉仕	委員	杉本 大輔	大阪城北	RYLA	委員長	時田 崇	大阪平野
	委員	山崎 直人	東大阪東		副委員長	高山 孝一	大阪大淀
	委員	中根 三恵子	大阪ユーパークティ		副委員長	阪口 太	大阪リバーサイド
	委員長	戸田 佳季	大阪中之島		副委員長	高濱 昌次	大阪リバーサイド
	副委員長	近藤 亘	吹田西		委員	倉角 和弥	八尾
	副委員長	松本 拓朗	大阪西南		委員	名村 美紀	東大阪中央
	副委員長	田中 商人	くすは		委員	梶谷 智紀	大阪アーバン
	副委員長	西村 智子	東大阪東		委員	新見 香	池田
	委員	北林 寛崇	池田		委員	河田 恵樹	大阪ネクスト
	委員	辻本 淳一	大阪城北		委員長	新堂 博	大阪城北
国際・社会奉仕	委員	平岡 弘章	大阪南		ボリオ・プラス小委員会委員長	山本 智重	大阪城南
	委員	清水 俊順	大阪北梅田		資金推進小委員会委員長	橋本 丈次	大阪心斎橋
	委員	小林 友美子	大阪上方		資金管理小委員会委員長	西垣 浩	大阪フレンド
	委員	田中 友子	大阪御堂筋本町		補助金小委員会委員長	木本 辰也	交野
	委員	若林 尚史	大阪朋友		奨学金小委員会委員長	渡邊 徹	大阪東
	委員	山田 英樹	大阪心斎橋		委員	戸田 尊文	東大阪東
	副委員長	木山 博之	大阪西		委員	國次 孝平	大阪北
	副委員長	高橋 雅子●	東大阪		委員	奥村 隆司	大阪梅田
	副委員長	湯木 尚二	大阪		委員	岡本 吉弘	大阪西北
	委員	高原 誠一郎	池田くれは		委員	北井 雄大●	大阪平野
ローターアクト	委員	嶋田 健一	交野		委員	木村 千恵	大阪北梅田
	委員	井上 健一	高槻東		委員	由谷 太作	大阪南
	委員	神藤 彩香	大阪水都		委員	藤田 充男	豊中
	委員	武知 宗博	大阪北浜		委員	西居 慎一郎 ●	東大阪
	委員	吉川 大輔	大阪梅田東		委員	友田 昭	八尾
	委員	中野 盛雄	大阪城北		委員	和田 悠希子	大阪上方
	委員	山村 忠弘	東大阪みどり		委員	森田 真弘	高槻東
	委員	中島 勇人	大阪上方		委員	飯田 亮真	大阪城北
	委員長	伊藤 剛	守口		委員	岩永 和昌	大阪御堂筋本町
	副委員長	日高 雅哉	大阪難波		委員	淀井 滿福	吹田
学友	委員	脇 律子	大阪西南		委員	貴島 順太朗	大阪西南RAC
	委員	堀内 智子	大阪中央	米山奖学	委員長	上瀬 匠	大阪中之島
	委員	井上 匠	大阪ユーパークティ		副委員長	上本 博	吹田
	委員	宮本 厚司	大阪水都		副委員長	松崎 達郎	大阪東南
	委員	行田 英視	大阪北梅田		副委員長	中山 真智	大阪西南
	委員	橋川 隆史	池田		委員	西川 正一	大阪淀川
	委員	那須 良太	吹田		委員	平岡 史生	大阪北
	委員	高野 新平●	大阪ユーパークティRAC		委員	谷 安都子	吹田
	委員長	伊藤 勝彦●	大阪南		委員	泉 浩一	大阪城南
	委員	河原 誠司	大阪北梅田		委員	益子原 稔博	大阪船場
学友	委員	三宅 一郎	大阪ユーパークティ		委員	宮川 大作	大阪南
	委員	小川 健一郎●	大阪		委員	亀岡 泰行	大阪淀川
	委員	八木 雄毅●	大阪西		委員	石田 貴志	大阪東
	委員	日高 戍●	大阪難波		委員	安原 慎二	池田くれは
	委員	高山 孝一●	大阪大淀		● 兼任		

オンラインカ・ハキーム・ババロラ
2026-27 年度 RI 会長
トランス・アマディ・ロータリークラブ
ナイジェリア・リバーズ州



1988 年に大学で工学の学位を取得。シェル PLC で要職を歴任するなど、石油・ガス業界で 25 年間勤務し、4 大陸でプロジェクトを実施。リビエラ・テクニカル・サービス社（石油・ガスインフラ供給会社）とリード・アンド・チエンジ・コンサルティング社（管理職コーチングと組織業績アドバイザーグループ）の 2 社を設立。

ババロラ氏が所属する専門職団体には、ナイジェリア技術者協会、ナイジェリア安全専門家協会、変革管理専門家協会などがある。経済・社会政策について政府に意見を提供する、故郷イバダン市の組織「ジェリコ・ビジネスメン・クラブ」のメンバーとなっている。

ロータークリークターとして 10 年間活動し、1994 年からはトランス・アマディ・ロータリークラブの会員。2011-12 年度に地区ガバナー、2018-20 年度に RI 理事、2019-20 年度に副会長を務めた。2017-23 年度に End Polio Now : 歴史をつくるカウントダウンキャンペーン委員会（2017-20 年度副委員長）、2013 年～現在はナイジェリア・ポリオプラス委員会（2016 年～現在アドバイザー）での役職を歴任。

妻プレバさんと共にポート・ハーコート市に在住。冠名基金とアーチ・クランフ・ソサエティを通じてロータリー財団を支援。シェルターボックス UK の評議員としてボランティア活動も行っている。ポリオのない世界のための地域奉仕賞、RI 超越の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞。



2026-27 年度会長メッセージのスピーチ

オンラインカ・ハキーム・ババロラ
2026-27 年度国際ロータリー会長
2026 年 1 月 12 日

親愛なるロータリーの友人とファミリーの皆さま、おはようございます！2026年国際協議会に皆さまを歓迎し、地区ガバナーエレクトとなられたことをお祝いできることを光栄に思います。

世界中からロータリーのシニアリーダー、スタッフ、そして卓越した会員が集結し、皆さまが来年度に向けて準備を整えるお手伝いをいたします。また、この場を、ぜひ同期の仲間と交流を深める機会としてください。ロータリーの国際性を体験しなければ、会員としてのメリットを十分に享受しているとは言えません。今週、皆さまはロータリーの世界を体感することになります。

この機会を逃さないでください。たくさんの人と知り合い、友情を育みましょう。温かい言葉が、思いもよらないところへと皆さまを導くでしょう。

私が出会ったロータリー会員は、出身がどこであれ、親切で明るく、すぐに親友になれる人ばかりです。

私たちのもう一つの共通点は、ロータリーが私たちを変えたということです。私たちという人間を形づくり、より良い人間にしてくれたのです。変化はここから始まるのです——奉仕を受ける方々だけでなく、私たち自身の中からも。

私たちのビジョン声明を考えてみてください：「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

私たちは「世界を変える」ことをよく話題にします。ポリオ根絶や平和構築について語ります。地域社会を変えることについて話します。そこには無数の素晴らしい実例があります。

しかし、私はこう問います。「自分自身の中に持続可能な変化をどう生み出しているのだろうか」

ロータリー会員にこの質問をすると、たいてい場が静まり返ります。

その沈黙が物語るのは、ロータリーが自分自身をどう変えたかについて、私たちはあまり考えないということです。

ロータリーが：

- どのように私たちのキャリアを変えているか
- どのように私たちのビジネスを変えているか
- どのように私たちの家族を変えているか

それは最も暗い時代における光にもなります。米国ノースカロライナ州のキャリーキルディア・ロータリークラブ会員、ティア・コッパスさんにとってもそうでした。

2021年、ティアさんの夫は、19カ月に及ぶ闘病の末、癌で亡くなりました。夫の介護とCOVID-19のパンデミックによる隔離生活により、ティアさんは19カ月間、ほとんど誰とも会っていませんでした。

そんな時、ティアさんが所属するロータリークラブの親友が電話をかけてきてこう言いました。「来週木曜日の夕食会に来てください。あなたに会いたいんです」

緊張と不安の中、ティアさんはロータリーの夕食会に足を踏み入れました。しかし、席に着く間もなく、初めて会う新会員が彼女を抱きしめ、こう言ってくれました。「来てくれて本当によかった！」

その瞬間、ティアさんは、自分が一人ではないこと、自分にはコミュニティがあることに気づきました。ロータリーこそ、彼女のコミュニティだったのです。

その夕食会の後、ティアさんはこの体験が自身に与えたインパクトについて、こうつづっています。「ロータリーは、あなたが最も必要とする時に、静かに、愛情をもってそばにいてくれるのです。普段は自分が“与える”側にいたとしても、“受ける”側になってもいいんだと教えてくれるのです」

そしてこう続けます。「ですから、つながりと奉仕、居場所を求めているなら、ロータリーがその答えとなるでしょう」。この言葉に共感できる方も多いと思います。

友人の皆さま、ロータリーは世界を変えるために活動していますが、ロータリーが自分自身をいかに変えたかを伝えることを恐れいでください。

経験から言えることですが、ロータリーは私を深く変えました。

私は十代でローター・アクターとして活動を始めました。恵まれた環境で育ち、良い教育を受けましたが、そのような機会を得られない人は大勢いました。

気づきをもたらしたのは、クラブの識字プロジェクトでした。地域社会の人びとに読み書きを教える支援をしました。母国の同世代の人たちが読み書きのスキルを持たずに成長すべきではないと考えました。

このプロジェクトが私を変えました。その変化は、教育へのアクセスを拡大するという責任を伴うものでした。この取り組みは、今日において特に重要です。ユニセフの推計によると、教育資金の削減により、今年末までに世界で約600万人の子どもが退学を余儀なくされる可能性があります。この教育危機に対処するには、「寄付」から「奉仕」へと意識を変える必要があります。

南アフリカのナイズナに素晴らしい事例があります。そこでは、ロータリークラブが教育分野で持続可能なインパクトを生み出しています。ナイズナ・ロータリークラブは2019年、地域のパートナーと協力し、2025年までに地域のすべての子どもが質の高い幼児教育を受けられるようになる方法を模索しました。地域社会からの協力も得て、問題の理解に努め、行動を起こしました。

その結果生まれたプロジェクトは、恵まれない地域の女性たちの力を解き放ち、幼児教育センターの開設と運営を実現させました。今日、このプロジェクトは何千もの子どもと家族を支援しています。今後も何世代にもわたり、教育を提供し続けるでしょう」

このインパクトを世界のほかの地域でも再現できれば、地域社会から信頼と評価を得ることができます。

そして、より多くの地域社会がロータリーを信頼すれば、入会したいという人が増えます。しかし、まずはそのような人びとを受け入れなければなりません。

当たり前のように聞こえるかもしれません、これは私たちが長年苦労している課題です。若きローター・アクターとしてロータリーに入会しようとした時、私は抵抗に遭いました。

ある日、私はクラブの昼食例会に行きました。以前にも招待を受けて参加したことがあります。

若いローター・アクターだった私を見て、そのクラブの会長は「ここで何をしているんだ?」と言いました。

ロータリーに入会するためだと、私は答えました。会場にいた全員が振り向き、私を見ました。

彼はこう言いました。「何という厚かましさだ! ただ入会できるわけがないだろう。招待が必要だ」と。

そこであきらめることもできましたが、私はこう言い返しました。「子どもが親の家に入るのに招待が必要だとは知りませんでした」

会場が沈黙に包まれる中、ソジ・フォウォデさんというロータリアンがこう声を上げました。「インカ、私が君を推薦するよ」

こうして私はロータリアンになったのです。

しかし、もしソジさんが声を上げてくれなかつたら？私が会員になることはなく、今日こうして皆さまの前に立つこともなかつたでしょう。

当時よりは良くなりましたが、一部のクラブは、世界をオープンに受け入れるどころか、今も閉ざされたままでです。

若い人の意見が尊重されなかつたり、考え方や背景が異なる人が歓迎されなかつたりすることがあります。このような状況では、入会する見込みのある人びとを入会前に失ってしまうことになるのです。

ロータリーにはもっと多くの会員が必要です。理事会は、2030年までにロータリアンを125万人、ローターアクターを12万5千人にするという会員増強目標を掲げています。この目標の達成は、私たち全員から始まります。

ですから、この国際協議会の開幕にあたり、皆さまには、人びとをどのように迎え入れるかを考えていただきたいと思います。例会や奉仕プロジェクトでの皆さまの態度ひとつで、誰かのロータリーのストーリーが始まるかもしれないし、終わるかもしれないのです。

これが、私たちが目標を達成する方法です。皆さまが地区の目標達成を導けば、ロータリー全体の目標を共に達成できます。しかし、地区の目標が何であれ、特に会員増強については、ご自分のベストを超えていただきたいと思います。

従来、最も多くの資金を集め、最も多くの会員を集め、最も大規模なプロジェクトを実施するクラブが称賛されてきました。

これは重要なことです。ただし、最も健全な競争は、クラブ間ではなく、過去と現在との間であるべきです。

過去5年～7年を振り返っていただくよう、それぞれの地区とクラブにお願いします。会員增加で最高を記録した年度はいつでしたか？ファンドレイジングで最高を記録した年度はいつでしたか？最も大きなインパクトをもたらしたプロジェクトは何でしたか。

それらの年度がわかつたら、その最高記録を超えていただきたいのです。

皆さまは、人生のうち1年間を地区ガバナーとして過ごします。皆さまがリーダーを務めるこの1年を振り返った時、人びとにどのような年度であったと言つてもらいたいですか？人びとがいかに多くのことを覚えているかに驚くでしょう。

最高だった年度の入会者が10名だったなら、少なくとも11名を目指すべきです。数年前に5万ドルを募金したなら、次年度は5万5千ドルを目指してみてください。ほかよりも優れていることを証明するためではなく、自分たちが最高の形になるためです。

こんな格言あります：

「グッド」から「ペター」、そして「ベスト」へ。

歩みを止めてはならない。

「グッド」が「ペター」になり、「ペター」が「ベスト」になるまでは。

この考え方は、クラブや地区に当てはまるのと同様、私たち自身にも当てはまります。「変化」と「インパクト」を常に意識するマインドセットが必要です。

「変化」と「インパクト」は同じではないということを覚えておくことが大切です。変化は始まりに過ぎません。インパクトこそが永続するのです。

ロータリーの大規模プログラム補助金による「健康な家族のための協力」が数年間実施されているナイジェリアでの事例を紹介します。

プログラム開始から間もない頃、私は試験的都市にある保健センターを訪問しました。自分で見たかったです。

主任医師は、私がロータリー会員であるということだけ知っていました。

彼は私を温かく迎え、約18カ月前からロータリーと協力していること、協力の開始後間もなく乳児死亡率と妊産婦死亡率が急激に低下したことを話してくれました。

ロータリーが介入する前は、多くの女性が妊婦健診を避けていました。しかし、健診は母子ともに安全な出産に欠かせません。ロータリーの支援により、妊婦が健診に通うシステムが整い、地域社会からの協力も得られました。受診率がアップし、死亡率が下がりました。

医師と話した後、私は、このプロジェクトが今後数十年にわたりナイジェリア全土で命を救い続けるであろうことを、はっきりと見ることができました。これこそが、私が「持続可能なインパクト」と呼ぶものです。

ロータリー会員である私たちは、より良い未来というビジョンを共有しています。それは、ポリオのない世界、平和な世界、誰もが質の高い教育を受けられる世界です。

そのビジョンを現実にするには、自身の内なる変化を意識し、解き放たなければなりません。「成果」だけでなく、「インパクト」を重視すべきです。

ティアさんがロータリークラブの夕食に招待されたことの「成果」は、彼女は孤独を感じなくなつたことです。しかし、その「インパクト」は、彼女とクラブの仲間が生涯にわたって希望とコミュニティ意識を持ち続けることです。

ナイジェリアでの「健康な家族のための協力」の「成果」は、乳児と妊産婦死亡率の低下です。しかし、その「インパクト」は、今日だけでなく、世代を超えてずっと、子どもたちが母親の愛情と導きのもとで育つということです。

私たちは、2030年の会員増強目標を必ずや達成します。その達成による「成果」は、世界のロータリー会員が増えることであり、ロータリーがある場所では良いことが起こることを私たちは知っています。その「インパクト」は、今後も長年にわたり、より強くて効果的なロータリーが築かれることです。

友人の皆さん、その未来は私たちから始まります。しかし、それは私たちのロータリーでの活動が終わった後もずっと続かなければなりません。この理由により、2026-27年度の会長メッセージは「持続可能なインパクトを生み出そう」です。

持続可能なインパクトを生み出す方法は数多くあります。世界的には、ポリオ根絶という約束を果たすこと、そしてロータリー平和センターの恩恵を最大限に活かすことを意味します。

クラブと地区では、より多くの人を迎える、2030年会員増強目標の達成に向けて役目を果たすことを意味します。

そして皆さんは、人びとが好奇心を持ち、問いかけをし、ロータリーファミリーに与えられた無限の可能性を受け入れて自分自身の中に持続可能なインパクトを生み出せるよう、インスピレーションを与えることができます。

結果を出し、自分の中に持続可能なインパクトを生み出すことへの意欲をクラブと会員にどう喚起できるかを考えください。

進歩は自ずと起きるものではありません。それ自身の内なる変化から始まります。

親愛なる地区ガバナーエレクトの皆さん、成功とは向こうからやって来るものではありません。自分でつかみに行かなければならないのです。

自分を変えられれば、クラブと地区を変えられます。地区を変えられれば、地域社会を変えられます。そして、地域社会を変えられれば、世界で、地域社会で、自分自身の中で、持続可能なインパクトを生み出すことができるのです

朋友の皆さん、ありがとうございます。国際協議会へようこそ。

横田 孝久（よこた たかひさ）

2026-27 年度ガバナー

生年月日 1962（昭和 37）年 8 月 12 日

東大阪 RC 入会日 2007（平成 19）年 7 月 4 日

職業分類 パワーツール機械製造

勤務先 ヨコタ工業株式会社 代表取締役社長



経歴 1986 年 3 月 早稲田大学 第一文学部 卒業

1986 年 4 月 原田産業株式会社 入社

1989 年 6 月 ヨコタ工業株式会社

1996 年 10 月 同社専務取締役就任

2006 年 10 月 同社代表取締役就任 現在に至る

ロータリー歴 2011-12年度 地区ローターアクト委員会副委員長

2013-14年度 クラブ幹事

2017-18年度 地区青少年交換委員会委員長

2018-19年度 地区学友委員会委員長

2019-20年度 地区青少年保護のための危機管理委員会委員

2020-21年度 クラブ会長

2021-22年度 地区危機管理委員会委員

2023-24 年度 IM 第 4 組ガバナー補佐

その他 ロータリー日本財団 メジャードナー

ロータリー日本財団 ベネファクター

ロータリー米山記念奨学会 米山功労者（マルチプル）

賞 罰 なし

2025-26年度より有効

私たちロータリアンと*ローターアクターは：

- ◆ 持続可能な良い変化を生むために、多様性を重んじ、あらゆる側面で公平さを促進し、異なる考え方や価値観をもつ人々による貢献を大切にし、DEI「多様性・公平さ・インクルージョン」を実現します。
- ◆ RIテーマを理解し、地域の特性にあった活動を通じて、それぞれが「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブになる事を目指します。
- ◆ ロータリーの原点である親睦と奉仕を根幹とし、世界および地域社会で良い変化を生み出します。
- ◆ 世界の未来を担う青少年の活動を支援し、若きリーダーの育成に努めます。

* 2019年規定審議会は国際ロータリーの組織規定を改正し、ローターアクトクラブが国際ロータリーの加盟クラブになりました。

地区中期3ヶ年目標 (2025-26~2027-28)

1. より大きなインパクトをもたらす

- ポリオ根絶のために啓発活動とファンドレイジングを推進します。
- 持続可能でインパクトをもたらす奉仕を強化します。

2. 参加者の基盤を広げる

- メディア、ソーシャルメディアや地域社会で、クラブと地区的インパクトを紹介し、公共イメージ向上を推進します。
- クラブと会員の多様化を推進します。

3. 参加者の積極的なかかわりを促す

- 全クラブが将来のビジョンや中期計画を策定するよう推奨します。
- 新しいプログラムや行事、学びと交流の機会を創出します。
- クラブが毎年クラブ優秀賞の受賞を目指すことを推奨します。

4. 適応力を高める

- ロータリアンやローターアクターが、地域で、国際社会で活躍するためのより多くの道をつくっていきます。
- 新たなテクノロジーや社会の変化に迅速かつ柔軟に対応していきます。

2026-27年度 地区年次目標

1. 【IMPACT】より大きなインパクトをもたらす

- ・ 世界ポリオデーにRACを中心にポリオ根絶イベントを開催し、ロータリー ファミリーやロータリアンと協働し、発信します。
- ・ 財団補助金活動（DG・GG）を実施し、そのストーリーを発信します。
- ・ 財団寄付目標を達成します。RCは年次基金\$150、PP\$50、恒久基金 \$30、RACはクラブまたは個人から合計\$100の財団寄付。
- ・ 前年踏襲型の活動を見直し、よりインパクトある事業を目指します。

2. 【REACH】参加者の基盤を広げる

- ・ YECやRYLAなど青少年プログラムを強化します。
- ・ RCとロータリーファミリーの協働を促進します。
- ・ 新しい形のクラブの設立を目指します。
- ・ ロータリーブランドとロゴを正しく使います。

3. 【ENGAGEMENT】参加者の積極的なかかわりを促す

- ・ 3year rolling goalsを通じてクラブのビジョンや中期計画の策定または改訂を促します。
- ・ あらゆる行事を魅力的な学びの機会として、会員の参加促進を図ります。
- ・ クラブの垣根を越えて会員同士の交流を図ります。
- ・ DEIへのコミットメントを強化します。
- ・ クラブや個人のロータリー各賞の受賞を促します。
- ・ より多くの会員に寄付して貢えるよう米山記念奨学会を支援します。
(ロータリアンの寄付目標@¥30,000、特別寄付者割合の前年比増)

4. 【ADAPT】適応力を高める

- ・ ラーニングセンターと配信の活用を促し、研修制度を見直します。
- ・ 全会員のMy Rotaryへの登録と活用を促します。
- ・ ADGによるクラブ・サポート・ミーティングを通じてクラブ課題の共有を促します。
- ・ 地区委員会のデジタル化を強化します。

2026-27年度のための地区チーム・ラーニングセミナー

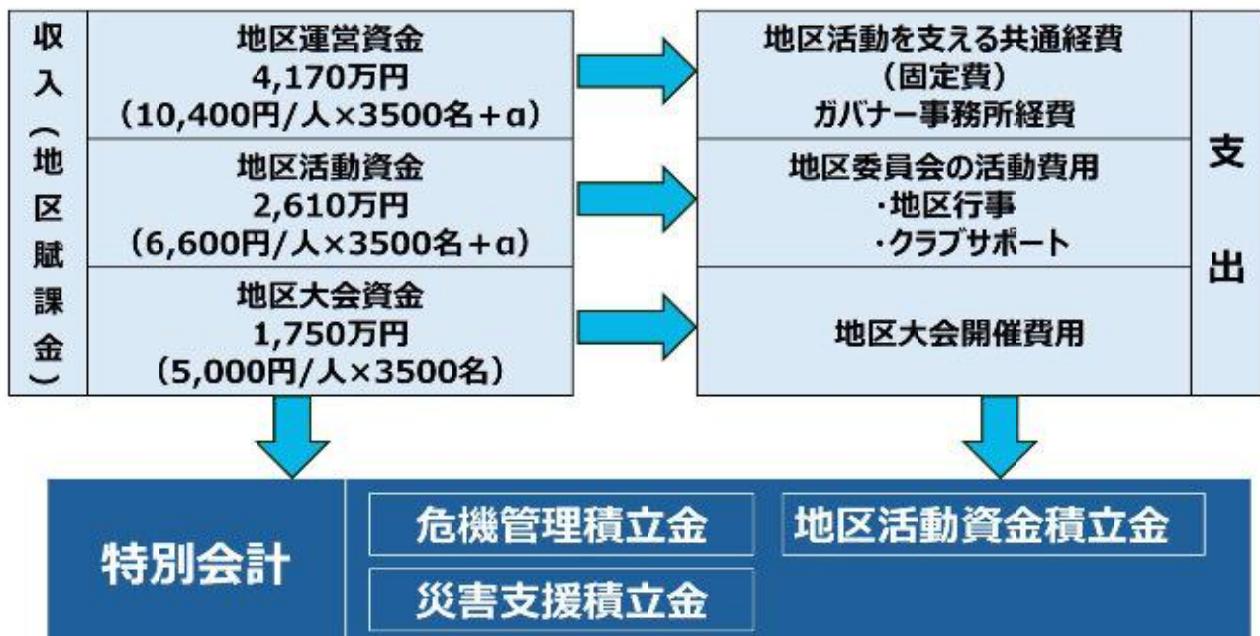
2026-27年度 地区予算の概要

1. 地区予算の体系
2. 地区委員会予算の管理
3. 地区委員会へのお願い

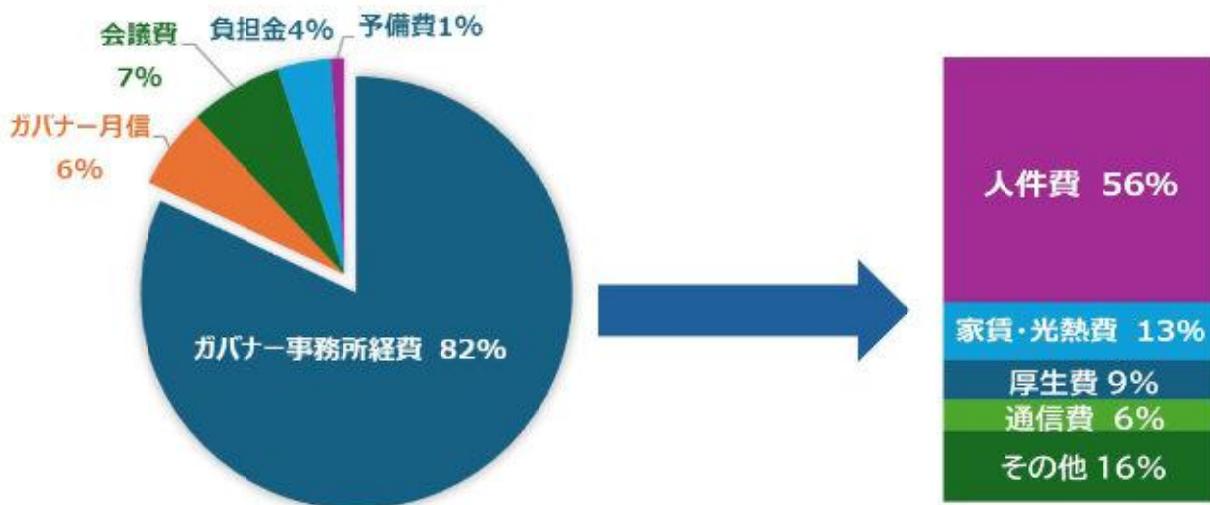
2026-27年度地区財務委員会
委員長 吉城 直孝 (東大阪RC)

地区予算の体系

地区予算の構成

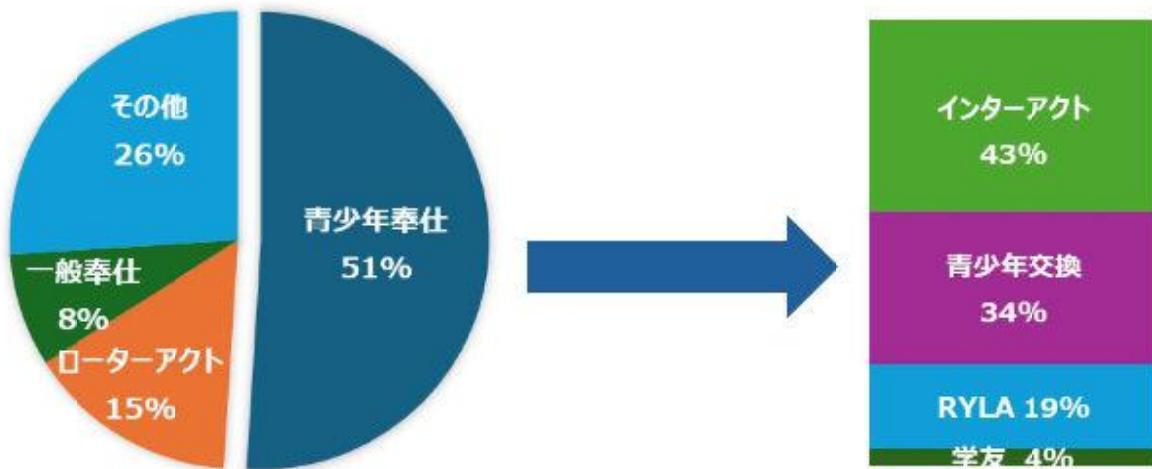


地区運営資金の構成



地区運営資金 4,170万円

地区活動資金の構成



地区活動資金 2,610万円

地区委員会予算の管理

地区財務委員会の使命と役割

使命

- ・地区資金の健全な運営と透明性の確保
- ・より効果的・効率的な資金の活用の推進

役割

- ・地区予算の策定、執行状況のフォロー、決算
- ・主要事業個別予算書、決算書の精査・審議
- ・建設的な予算策定への助言

地区委員会 予算管理スケジュール

ガバナー エレクト期	2025年	11月～12月	地区委員会活動計画ヒアリング、地区予算案策定
	2026年	3月	地区予算案説明 (地区チーム・ラーニングセミナー、PELS)
		4月	地区予算承認（クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー）
ガバナー 期	2027年	5月	地区委員会予算執行計画書作成
		7月～6月	・主要行事予算書審議(3か月前) ・ 同上 決算書審議(1か月後) ・委員会決算報告作成
直前 ガバナー 期	2027年	8月	地区決算・監査
		10月	地区決算クラブ承認
		11月	地区大会報告

地区委員会へのお願い

予算書の作成と提出

- ・対象事業：予算規模の大きな事業(40万円以上)
財務委員会指定事業(初めての事業等)
- ・提出時期：事業開催3か月前または参加募集案内の1か月前
(財務委員会審議による予算書修正可能な時期)
- ・提出物：予算書+添付資料(事業計画書/プログラム/主要見積書/講師プロフィール/配布チラシ案)

予算書作成にあたっての留意事項

1. 地区委員会会計の設置
2. 事業ごとの予算管理の徹底
3. 受益者負担原則の徹底
(固定費：地区活動費、飲食費：登録料)
4. 適切な登録料の設定 (正確な参加者の予測)
5. 前年踏襲からの脱却 (新たな視点での経費の削減)

決算書の作成と提出

<個別事業決算書>

- ・提出時期：事業終了後1ヶ月以内
- ・提出物：決算書 & 添付資料
(主要支出項目の領収書コピー/事業報告書/参加者一覧)

<委員会別全事業決算報告書>

- ・提出時期：2027年6月30日
- ・提出物：委員会別決算報告書
(全ての事業の予算額/決算額一覧)

2026-27 年度 地区委員会 財務ルール

1. 地区委員会会計の設置

- (1) 地区委員会に会計を選任してください。
- (2) 委員長が会計を兼任することも可とします。
- (3) 以下のルールに記した業務は会計が担当してください。

2. 地区委員会予算に関わる年間スケジュール

(1) 予算の確定

2026 年 4 月 4 日、クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーにて次年度予算が正式決定します。

(2) 予算書・決算書提出が必要な事業の確定

2026 年 5 月上旬、委員会毎に予算書、決算書提出が必要な事業を記載した予算執行計画書を作成し、各委員会のご意見を反映したうえで確定します。

(3) 予算書、決算書の提出、審議

予算執行計画書で確定した事業については、当作成要領 3、4 に記載されたルールに従い、事業実施前に予算書、事業終了後に決算書を財務委員会に提出し承認を得ていただきます。年初 7 月、8 月に実施する事業については予算執行計画書策定後すぐに提出していただき今年度（横田 G 年度）の財務委員会で審議することになります。

(4) 年度末決算書の提出

2027 年 6 月末までに当財務ルール 5 に記載された内容に従い委員会決算報告書を財務委員会に提出して下さい。

3. 予算書作成に当たって留意すべき事項

(1) 事業ごとの予算管理の徹底

ある事業の予算が余ったので他の事業に回すことは原則禁止です。事業ごとの予算管理を徹底し、事業計画及び予算を変更する際は財務委員長にご相談下さい。

(2) 受益者負担の原則の徹底

飲食を伴う事業で登録料を集めの場合、事業固定費には地区活動費を充当する一方で、飲食費は登録料でまかない、地区予算を充当しない等、いわゆる「受益者負担の原則」を遵守して下さい。

(3) 登録料の設定

参加者から登録料をいただく場合、いくらに設定するかは重要な問題です。参加者数の予測が甘いと大きな剰余金が発生したり、大幅な赤字になる可能性があります。過去のデータを参考にして、なるべく正確な参加者数の予測に基づく登録料の設定を心がけて下さい。

(4) 創意工夫

前年踏襲ではなく、新たな視点で固定費の削減、より効果的・効率的な事業運営等を心がけ、対費用効果の高い事業となるようご留意下さい。特に、会場選定の際は、事業規模にあった会場を使用して下さい。

4. 事業計画・予算書の作成

(1) 予算額

2026-27 年度地区委員会予算執行計画書に計上された予算を上限として作成して下さい。

(2) 提出期限

原則として、開催 3 ヶ月前（または参加者募集案内文書の配布 1 ヶ月前のいずれか早い方）に財務委員会まで提出して下さい。「財務委員会によって予算修正が必要となった場合にも対応が可能な期限」とご理解下さい。なお、上記期限までに提出できない事情がある場合は（外部参加者募集がある場合を除く）、速やかに連絡してください（但し、遅くとも開催 2 ヶ月前までの提出を厳守して下さい）。

(3) フォーマットおよび記入要領

事業計画・予算書は規定のフォーマット（予算書）を使用し、記載事例を参考に作成して下さい。フォーマットは 5 月の予算執行計画書送付の際にお送りします。

(4) 提出資料

以下の資料を添付して下さい。

- ・事業計画書/プログラム（参加対象者と参加予定人数を明記すること）
- ・主要支出項目の見積り書（コピー）
- ・講師など外部協力者のある場合はプロフィールなど
- ・配布チラシの案

5. 事業報告・決算書の作成

(1) 提出期限

原則として、事業終了後、1 ヶ月以内に財務委員会まで提出して下さい。

(2) フォーマットおよび記入要領

事業報告・決算書は規定のフォーマット（決算書 個別事業）を使用し、記入要領を参考に作成して下さい。フォーマットは 5 月の予算執行計画書送付の際にお送りします。

(3) 提出資料

以下の資料を添付して下さい。

- ・主要支出項目の領収書（コピー）
- ・事業報告書（予算をオーバーした事業は、必ずその理由を事業報告書に明記して下さい）。
- ・参加者一覧

6. 委員会決算報告の作成

(1) 提出期限

財務委員会審議案件のみではなく、全ての事業を記載した委員会決算報告書を2027年6月末までに財務委員会に提出して下さい。

(2) フォーマットおよび記載要領

委員会決算報告書は規定のフォーマット（地区委員会決算書）を使用し、記載要領を参考に作成して下さい。フォーマットは5月の予算執行計画書 送付の際にお送りします。

(3) 関連組織の決算書

地区活動資金の交付を受けている関連の組織・団体（たとえば、ロータリー学友会、米山奨学生学友会(関西)、RAC、ROTEX、Team RYLA等）に活動資金を交付する際は、その使用目的を確認し、決算確定後に速やかに決算書を提出するように指導して下さい。

7. 地区委員会諸経費

委員会活動経費として各委員会当り 1~3 万円を予算化します。活動経費として支出可能な項目は以下の通りです。予算を超える支出項目がある場合は財務委員長にご相談下さい。

- ・委員長の名刺代
- ・委員会で使用するコピー代
- ・地区外で開催されるセミナー や研究会の登録費用
(原則 委員長・副委員長のみ)
- ・委員会会場費 (原則ガバナー事務所を使用。やむを得ない場合のみ
予算の範囲でお願いします)
- ・その他、財務委員会が承認した経費

8. 委員会予算に関わる問い合わせ先・書類提出先

ガバナー事務所 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

(※ CC : を 2026-27 年度 地区財務委員長 吉城宛にもお送り下さい。

E-mail : yosiki-a@cello.ocn.ne.jp)

2026-27年度 地区予算案

【地区運営資金】

【収入の部】

想定会員数

3,500

科目	2024-2025年度	2025-2026年度	2026-2027年度	前年度予算比
1. 地区資金	33,600,000	36,540,000	36,400,000	-140,000
2. RI補助金	1,292,590	1,292,590	1,292,590	0
3. 人件費分担金	3,000,000	3,000,000	3,000,000	0
4. 受取利息				0
5. 雑収入		1,000,000	1,000,000	0
収入合計	37,892,590	41,832,590	41,692,590	-140,000

【支出の部】

科目	2024-2025年度	2025-2026年度	2026-2027年度	前年度予算比
A負担金				0
1. ガバナー会	672,000	696,000	700,000	4,000
2. ロータリー文庫	1,008,000	1,044,000	1,050,000	6,000
3. 平和奨学生支援協力金	50,400	52,200	105,000	52,800
小計	1,730,400	1,792,200	1,855,000	62,800
B. 会議費				0
1. PETs・地区チームラーニングセミナー	1,200,000	1,800,000	1,800,000	0
2. 合同地区委員会	0	0	0	0
3. G補佐・地区幹事会	50,000	50,000	50,000	0
4. GE国際協議会	730,000	730,000	1,000,000	270,000
5. 予備費	100,000	100,000	100,000	0
小計	2,080,000	2,680,000	2,950,000	270,000
C. ガバナー関係費				0
1. ガバナー事務所経費	31,080,000	34,760,000	34,339,200	-420,800
2. ガバナー月信費	2,000,000	2,400,000	2,400,000	0
3. ガバナー補佐経費	10,000	10,000	10,000	0
4. 直前DG記念品	100,000	100,000	100,000	0
小計	33,190,000	37,270,000	36,849,200	-420,800
D. 総予備費	892,190	90,390	38,390	-52,000
支出合計	37,892,590	41,832,590	41,692,590	-140,000
收支差額	0	0	0	0
前年度繰越金	13,161,684	13,161,684	13,161,684	0
E. 大阪・関西万博積立金繰入額	0	0	0	0
F. 災害支援積立金繰入額	0	0	0	0
G. 地区基金繰入額	0	0	0	0
次年度繰越金	13,161,684	13,161,684	13,161,684	0

ガバナー事務所経費

科目	2024-2025年度	2025-2026年度	2026-2027年度	前年度予算比
1. 家賃・光熱費	4,450,000	4,450,000	4,450,000	0
2. 給料・手当	17,150,000	19,000,000	19,570,000	570,000
3. 厚生費	2,750,000	3,040,000	3,131,200	91,200
4-1. コンピューター関係費用	1,582,000	1,309,300	400,000	-909,300
4-2. ウェブサイト関連費		1,272,700	1,400,000	127,300
5. DG・DGE交通会合費	1,160,000	1,160,000	1,160,000	0
6. 印刷費	1,100,000	1,100,000	1,000,000	-100,000
7. 交通通信費	1,600,000	1,900,000	1,900,000	0
8. 文献費	100,000	100,000	100,000	0
9. 事務用品費	460,000	460,000	260,000	-200,000
10. 什器備品費	200,000	200,000	200,000	0
11. 雑費	470,000	710,000	710,000	0
12. 予備費	58,000	58,000	58,000	0
合計	31,080,000	34,760,000	34,339,200	-420,800

2026-27年度 地区予算案

【地区活動資金】

【収入の部】

科目	2024-2025年度	2025-2026年度	2026-2027年度	前年度予算比
1. 地区資金	23,520,000	22,620,000	23,100,000	480,000
2. 地区活動資金戻入	0	0	0	0
3. RI規定審議会派遣積立金戻入	0	0	0	0
4. 地区活動資金積立から繰入	0	0	3,000,000	3,000,000
収入合計	23,520,000	22,620,000	26,100,000	3,480,000

【支出の部】

科目	2024-2025年度	2025-2026年度	2026-2027年度	前年度予算比
A. 地区委員会活動費				
1. DG指名(委)	0	0	0	0
2. 公共イメージ向上部門				
公共イメージ向上(委)	270,000	280,000	380,000	100,000
HP製作費	0	0	0	0
公共イメージセミナー	110,000	100,000		-100,000
メディアコンファレンス	150,000	150,000	280,000	130,000
委員会活動費	10,000	30,000	30,000	0
PRTIMES		0	70,000	70,000
3. 奉仕活動部門				0
拡大増強(委)	310,000	210,000	0	-210,000
増強セミナー	300,000	200,000		-200,000
委員会活動費	10,000	10,000		-10,000
ガバナー主催イベント	0	0		0
交流活性化(委)	0	1,440,000	0	-1,440,000
交流サイト制作費		1,200,000		-1,200,000
交流サイトサーバー費用		240,000		-240,000
クラブ奉仕委員会			530,000	530,000
会員増強セミナー			200,000	200,000
交流活性化小委員会			300,000	300,000
委員会活動費			30,000	30,000
職業奉仕(委)	282,300	156,300	213,600	57,300
クラブ委員長会議	101,300	156,300		-156,300
クラブ活動支援	0	0	16,600	16,600
ロータリアンとローター・アクターとの懇談会	171,000	0	197,000	197,000
経営塾	0	0	0	0
委員会活動費	10,000	0	0	0
国際・社会奉仕(委)	210,000	100,000	151,800	51,800
クラブ委員長会議	200,000	100,000	151,800	51,800
委員会活動費	10,000	0	0	0
4. 青少年奉仕部門				0
青少年奉仕統括委員会	200,000	200,000	200,000	0
合同委員長会議	200,000	200,000	200,000	0
委員会活動費	0	0	0	0
青少年交換(委)	4,030,000	2,950,000	4,550,000	1,600,000
支援金50万×4C、短期5万×4C	2,400,000	1,200,000	2,200,000	1,000,000
9月1泊オリエンテーション	250,000	150,000	200,000	50,000
8月来日学生歓迎パーティー	50,000	150,000	210,000	60,000
12月クリスマスパーティー	200,000	200,000	200,000	0
6月来日スピーチコンテスト	200,000	200,000	200,000	0
3月白馬スキー旅行	250,000	500,000	540,000	40,000
日本文化体験		0	410,000	410,000
ROTEX活動費	300,000	400,000	240,000	-160,000
HF懇談会2回G事務所	30,000	30,000	30,000	0
プログラム参加費	0	0	0	0
クラブ委員長会議登録料	30,000	50,000	50,000	0
5月広島研修	250,000	0	200,000	200,000
6月歓送会	0	0	0	0
委員会活動費	70,000	70,000	70,000	0

2026-27年度 地区予算

科目	2024-2025年度	2025-2026年度	2026-2027年度	前年度予算比
インター アクト(委)	6,200,000	5,300,000	5,800,000	500,000
海外研修	5,940,000	5,000,000	5,300,000	300,000
年次大会	150,000	150,000	250,000	100,000
SCRUM発行	0	0	0	0
新入生歓迎会(ホスト: 池田くれはIAC)	100,000	100,000	200,000	100,000
新クラブ提唱準備金	0	0	0	0
クラブ合同会議	0	50,000	50,000	0
海外研修顧問費用	0	0	0	0
香港IAC受入費用	0	0	0	0
機材購入	0	0	0	0
委員会活動費	10,000			0
RYLA(委)	2,490,000	2,500,000	2,600,000	100,000
秋のRYLAセミナー	2,000,000	0	0	0
春のRYLAセミナー	0	2,000,000	2,100,000	100,000
スキルアップセミナー	200,000	200,000	140,000	-60,000
研修会	0	0	0	0
賛助会費	0	0	0	0
備品購入費(参加記念品)	0	0	0	0
登録料	0	0	0	0
TeamRYLA活動助成金	280,000	290,000	350,000	60,000
委員会活動費	10,000	10,000	10,000	0
学友委員会	360,000	210,000	196,000	-14,000
委員会活動費	10,000	80,000	66,000	-14,000
ロータリー学友会総会11月	150,000	0	0	0
ロータリー学友会総会5月	150,000	100,000	100,000	0
広報活動他	50,000	30,000	30,000	0
大家族懇親会		0	0	0
5. 米山奨学部門				0
米山奨学(委)	310,000	330,000	330,000	0
委員会活動費	10,000	30,000	30,000	0
クラブ支援金	0	0	0	0
PC購入	0	0	0	0
たすき	0	0	0	0
マスク寄贈	0	0	0	0
米山奨学生学友会(関西)活動費	300,000	300,000	300,000	0
各大学奨学生担当者会議	0	0	0	0
クラブ米山奨学委員長及びカウンセラー研修会	0	0	0	0
奨学生・カウンセラー対象レクリエーション	0	0	0	0
米山梅吉記念館訪問・OR東大寺見学	0	0	0	0
次年度奨学生採用選考(12月～1月)	0	0	0	0
奨学生修了式・歓送会	0	0	0	0
新入生オリエンテーション	0	0	0	0
クラブ担当カウンセラー補助金	0	0	0	0
米山学友メンター制度補助金	0	0	0	0

2026-27年度 地区予算

科目	2024-2025年度	2025-2026年度	2026-2027年度	前年度予算比
6. ローターアクト部門				0
ローターアクト(委)	6,189,000	3,570,000	3,762,000	192,000
海外研修	0	0	0	0
委員会活動費	10,000	30,000	30,000	0
事業費	0	0	0	0
年次大会	0	0	0	0
新クラブ提唱補助	0	0	0	0
地区連絡協議会	0	0	0	0
第一回地区献血	0	0	40,000	40,000
四地区合同情報交換会、交流会	50,000	50,000	200,000	150,000
地区海外研修	800,000	800,000	1,000,000	200,000
第二回地区献血	0	40,000	40,000	0
新人研修会	0	40,000	40,000	0
リーダーシップフォーラム	0	40,000	20,000	-20,000
地区年次大会	500,000	600,000	600,000	0
各地研修会	150,000	200,000	200,000	0
諸会議	0	100,000	100,000	0
地区役員渉外	405,000	380,000	222,000	-158,000
地区RAC運営	190,000	240,000	220,000	-20,000
感染予防対策備品、zoom費用等	0	0	0	0
地区行事による損害保険	84,000	50,000	50,000	0
世界RACDAY第37回全国ローターアクター研修	3,000,000	0	0	0
世界ポリオデーがハナー主催イベント	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0
7. ロータリー財団部門				0
ロータリー財団(委)	410,000	430,000	421,800	-8,200
委員会活動費	10,000	30,000	50,000	20,000
財団セミナー	200,000	200,000	151,800	-48,200
補助金管理セミナー	200,000	200,000	220,000	20,000
ガハナー主催イベント	0	0	0	0
8. 危機管理委員会	150,000	150,000	150,000	0
登録料	0	0	0	0
印刷費	0	0	0	0
講師謝礼	120,000	120,000	120,000	0
委員会活動費	30,000	30,000	30,000	0
9. ラーニング委員会	100,000	100,000	100,000	0
10. 規定・決議審議委員会	100,000	100,000	100,000	0
11. 大阪のロータリー100周年委員会	0	0	0	0
12. 大阪・関西万博関連事業推進委員会	0	0	0	0
13. RI規定審議会派遣積立金	0	0	400,000	400,000
14. RIJYEM維持協力会	676,000	676,000	676,000	0
15. 危機管理積立金	0	0	0	0
16. コロナ対策費	0	0	0	0
クラブ委員長会議配信費(職業・国際・社会・青少年奉仕)	0	0	0	0
セミナー配信費(財団・公共イメージ・補助金・増強)	0	0	0	0
2023-24地区チーム研修セミナープログラム配信費	0	0	0	0
プログラム配信用　臨時回線手配	0	0	0	0
2023-24PETプログラム配信費	0	0	0	0
プログラム配信用　臨時回線手配	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0
17. 予備費	1,000,000	717,700	338,800	-378,900
小計	23,287,300	19,420,000	20,900,000	1,480,000
B. RI会長DG協調事業費	500,000	500,000	500,000	0
C. 賠償責任保険	300,000	300,000	300,000	0
D. IMロータリーデー補助金	600,000	2,400,000	2,400,000	0
E. RI理事支援金			2,000,000	2,000,000
支出合計	24,687,300	22,620,000	26,100,000	3,480,000
収支差額	-1,167,300	0	0	0
前年度繰越金	7,048,502	5,881,202	5,881,202	0
E. 大阪・関西万博積立金繰入額	0	0	0	0
F. 災害支援積立金繰入額	0	0	0	0
G. 地区基金繰入額	0	0	0	0
次年度繰越金	5,881,202	5,881,202	5,881,202	0

2026-27年度 地区予算案

【特別会計】

1. 地区大会資金

【収入の部】

科目	2024-2025年度	2025-2026年度	2026-2027年度	前年度予算比
1. 地区資金	16,800,000	17,400,000	17,500,000	100,000
2. 地区大会会計戻入額	0	0	0	0
収入合計	16,800,000	17,400,000	17,500,000	100,000

【支出の部】

科目	2024-2025年度	2025-2026年度	2026-2027年度	前年度予算比
1. 地区大会会計繰入額	16,800,000	17,400,000	17,500,000	100,000
2. 100周年記念 100年の歩み	0	0	0	0
3. 100周年記念講演	0	0	0	0
4. 万博特別会計繰入	0	0	0	0
支出合計	16,800,000	17,400,000	17,500,000	100,000
收支差額	0	0	0	0
前年度繰越金	9,797,560	9,797,560	9,797,560	0
次年度繰越金	9,797,560	9,797,560	9,797,560	0

2. 米山奨学生活動費

【収入の部】

科目	2024-2025年度	2025-2026年度	2026-2027年度	前年度予算比
1. 地区奨学生活動費(奨学会より)	2,800,000	2,800,000	2,800,000	0
収入合計	2,800,000	2,800,000	2,800,000	0

【支出の部】

科目	2024-2025年度	2025-2026年度	2026-2027年度	前年度予算比
1. 米山関連行事支出額	2,800,000	2,800,000	2,800,000	0
支出合計	2,800,000	2,800,000	2,800,000	0
收支差額	0	0	0	0
前年度繰越金	0	0	0	0
次年度繰越金	0	0	0	0

3. RI規定審議会派遣積立金

【収入の部】

科目	2024-2025年度	2025-2026年度	2026-2027年度	前年度予算比
1. 地区活動資金繰入額	300,000	400,000	400,000	0
収入合計	300,000	400,000	400,000	0

【支出の部】

1. RI規定審議会派遣費用	1,200,000	0	0	0
2. 規定審議会会議費	0	0	0	0
支出合計	1,200,000	0	0	0
收支差額	-900,000	400,000	400,000	0
前年度繰越金	1,300,000	400,000	800,000	400,000
次年度繰越金	400,000	800,000	1,200,000	400,000

4. 危機管理積立金

【収入の部】

科目	2024-2025年度	2025-2026年度	2026-2027年度	前年度予算比
1. 地区活動資金繰入額	0	0	0	0
収入合計	0	0	0	0

【支出の部】

1. 危機対応支出額	0	0	0	0
支出合計	0	0	0	0
收支差額	0	0	0	0
前年度繰越金	20,000,000	20,000,000	20,000,000	0
次年度繰越金	20,000,000	20,000,000	20,000,000	0

5. 地区基金

【収入の部】

科目	2024-2025年度	2025-2026年度	2026-2027年度	前年度予算比
1. 地区運営・活動資金繰入額				0
収入合計				0

【支出の部】

科目	2024-2025年度	2025-2026年度	2026-2027年度	前年度予算比
1. 地区基金支出額				0
支出合計				0
收支差額				0
前年度繰越金	30,000,000	30,000,000	30,000,000	0
次年度繰越金	30,000,000	30,000,000	30,000,000	0

6. 大阪・関西万博積立金

【収入の部】

科目	2024-2025年度	2025-2026年度	2026-2027年度	前年度予算比
1. 大阪・関西万博積立金繰入額	0	0	0	0
収入合計	0	0	0	0

【支出の部】

科目	2024-2025年度	2025-2026年度	2026-2027年度	前年度予算比
1. 大阪・関西万博積立金支出額	5,000,000	0	0	0
支出合計	5,000,000	0	0	0
收支差額	-5,000,000	0	0	0
前年度繰越金	5,000,000	0	0	0
次年度繰越金	0	0	0	0

7. 災害支援積立金

【収入の部】

科目	2024-2025年度	2025-2026年度	2026-2027年度	前年度予算比
1. 災害支援積立金繰入額	0	0	0	0
収入合計	0	0	0	0

【支出の部】

科目	2024-2025年度	2025-2026年度	2026-2027年度	前年度予算比
1. 災害支援積立金支出額	0	0	0	0
支出合計	0	0	0	0
收支差額	0	0	0	0
前年度繰越金	20,000,000	20,000,000	20,000,000	0
次年度繰越金	20,000,000	20,000,000	20,000,000	0

8. 地区活動資金積立金

【収入の部】

科目	2024-2025年度	2025-2026年度	2026-2027年度	前年度予算比
1. 地区活動資金積立金繰入額	0	0	0	0
収入合計	0	0	0	0

【支出の部】

科目	2024-2025年度	2025-2026年度	2026-2027年度	前年度予算比
1. 地区活動資金積立金支出額	0	0	0	0
地区活動資金へ繰入			3,000,000	3,000,000
支出合計			3,000,000	3,000,000
收支差額	0	0	-3,000,000	-3,000,000
前年度繰越金	5,000,000	5,000,000	5,000,000	0
次年度繰越金	5,000,000	5,000,000	2,000,000	-3,000,000

2026.02.07

26-27年度のための地区チームラーニングセミナー

地区チームの役割と責務



1

本日のTOPICS

- ❖ ガバナー補佐と地区委員会
- ❖ 地区委員会の目的と任務
- ❖ 地区の組織と委員会
- ❖ 地区委員会・委員・会員数の変遷
- ❖ 地区委員会の間接経費
- ❖ 地区委員会の課題
- ❖ 2026-27 地区委員会の運営方針
- ❖ 地区委員会の在り方（考察）

2

1

ガバナー補佐（ADG）の任務

- a) クラブを訪問し…
- b) クラブの目標設定や…
- c) クラブと地区委員会の連絡係として活動する
⋮
- e) 地区活動や地区委員会にクラブの参加を奨励する
⋮
- h)

3

地区委員会の目的と任務

地区の目的

- ロータリークラブを強化し、支援すること
- 特定の奉仕プロジェクト、プログラムを完遂することは必須とされない
(クラブの活動を減殺してはならない)

地区委員会の任務

ガバナー補佐の助言を得て、ガバナーが策定した地区目標を実行する

4

地区委員会の目的と任務

地区の目的

R章典 8.010. 活動に関するクラブの自主性

クラブは、地元地域のニーズに応じて**独自のプログラムを開発すべき**である。

クラブのために特定の奉仕プロジェクトやプログラムを提唱したり、指示したりすることは、RI のプログラムの範囲内ではない。

ロータリーの基本原則は、加盟クラブの実質的な自治である。

地区委員会の任務

ガバナー補佐の助言を得て、**ガバナーが策定した地区目標を実行する**

5

地区の組織と委員会

地区委員会

- 地区ガバナーが委員を任命
- クラブや地区の活動や運営を支援
- 地区目標の設定およびその達成
- ニーズに応じて委員会構成を柔軟に調整

必須の委員会

会員増強、公共イメージ、ロータリー財団、財務、ラーニング

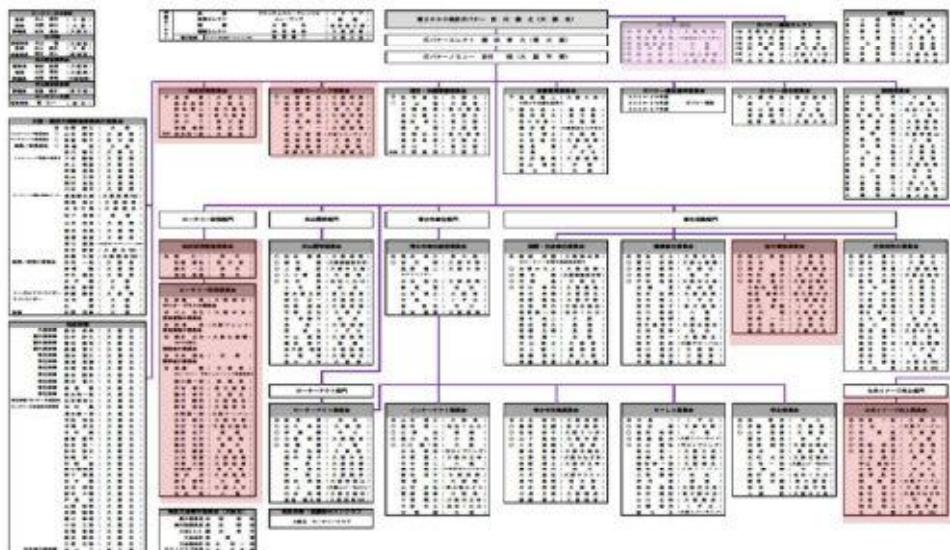
任意の委員会

学友、地区大会、DEI、新世代交換、指名、国際大会推進、ロータリー友情交換、社会奉仕、国際奉仕、IAC、RAC、RYLA、YE

6

3

地区の組織と委員会…ガバナー補佐と必須の委員会



7

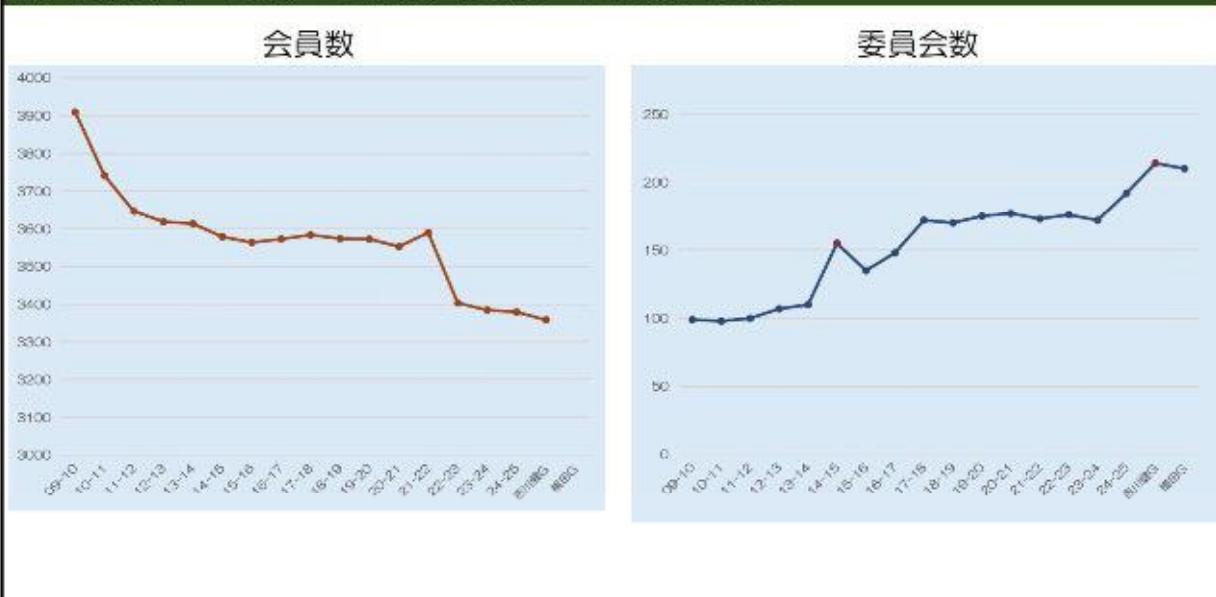
地区委員会・委員・会員数の変遷

委員会数

年度	09-10	10-11	11-12	12-13	13-14	14-15	15-16	16-17	17-18	18-19	19-20	20-21	21-22	22-23	23-24	24-25	吉川機G	横田G
委員会数	10	10	10	10	10	11	11	11	12	12	12	12	12	12	11	11	12	11
委員数 (人)	99	98	100	107	110	155	135	148	172	170	175	177	173	176	172	192	214	210
会員数 (人)	3910	3742	3647	3619	3614	3579	3564	3573	3584	3574	3573	3553	3590	3404	3385	3380	3359	

8

地区委員会・委員・会員数の変遷・会員数の変遷



9

地区委員会（間接経費）



10

地区委員会（間接経費）

ガバナー事務所経費

地区	会員数(人)	職員数(人)
2660 大阪北部	3,485	5
2760 愛知	4,609	7
2750 東京（グアム他）	4,587	2
2650 福井・京都・奈良・滋賀	4,215	6
2710 広島・山口	3,159	3
2700 福岡・長崎・佐賀	3,156	3
2630 岐阜・三重	3,120	3
2580 東京・沖縄	3,060	3

11

地区委員会の課題

- ▶ 人数が多い割にアクティブメンバーが限られる
- ▶ 委員会によっては引継マニュアルなどが無い
- ▶ 土曜の昼に度々招集される各種委員長会議やセミナーにおいてはマジネリ感が強く、主催側の自己満足

12

2026-27年度 地区委員会の運営方針

1. 形式主義の排除とインパクト

…踏襲型事業を見直し、参加者の満足度(成果)を優先する

2. 青少年プログラムの強化

…参加者（青少年）を増やす

…学友主体の新クラブ結成を目指す

3. ラーニングセンター・配信の積極活用

…原則、地区行事は(録画・LIVE問わず)配信で実施する

4. 運営マニュアルの整備

13

委員会の在り方（考察）

❖ 人材の育成…未来のリーダー

❖ 学びの場…クラブに知識と経験を持ち帰り、活性化・発展に寄与

❖ スリム化、効率化…委員会内で作業を実行。デジタルツールの活用

❖ 引継ぎ…リソースのアーカイブ（活動履歴、資料や知見）

14



ご清聴、有難うございました！

2026-27年度 地区チームラーニングセミナー 地区委員会活動の合理化と効率化

国際ロータリー第2660地区
2026-27年度地区クラブ奉仕委員会 新クラブ結成小委員会委員長
近藤 太郎

01/13 地区委員会活動の合理化と効率化



地区委員会活動の合理化と効率化 近年の取り組み



地区全体の合理化
ガバナー事務所の業務内容の見直し

02/13 地区委員会活動の合理化と効率化



【資料⑧-1】

委員会の出欠確認

共通認識の再確認



委員の出欠確認は

ガバナー事務所の業務ではありません

委員会で取りまとめ



ガバナー事務所と共有

03/13 地区委員会活動の合理化と効率化



委員会の出欠確認

出欠確認ツールの利用



LINEグループ



調整さん

スケジュール調整サービス



メリット

- 携帯での操作が簡単
- 導入のハードルが低い

結果として、
「実は手間が減っていない」
「情報が限定される」

デメリット

- 出欠情報を別途資料に転記必要
- 行事ごとに毎回設定が必要

04/13 地区委員会活動の合理化と効率化

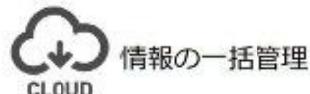


委員会の出欠確認

クラウドサービスの活用



- 委員会出欠
- 各種行事出欠
- 年間予定
- 委員会資料 その他



委員長・委員・ガバナー事務所

いつでもどこでも情報共有



ペーパレスに移行しやすい

05/13 地区委員会活動の合理化と効率化



ペーパレスの導入

効果の本質

2024年7月～12月 ▶ 2025年7月～12月 前年同期比

半年間比較で削減されたコピー用紙 ※納入業者請求書記載数量を基に算出

67,249枚



時間



労力



人手



06/13 地区委員会活動の合理化と効率化



ペーパレスの導入 共通認識の再確認



資料の作成・編集・修正

ガバナー事務所の業務ではありません

委員会で
作成・編集・修正



ガバナー事務所で確認

07/13 地区委員会活動の合理化と効率化



ペーパレスの導入

PDF化を前提とした資料の作成



PPT (パワーポイント) 作成

- 文字化けしないフォントの使用
※メイリオ・游ゴシック等
- PDF化に適したフォントの使用
※明朝体は使用に注意が必要
- 正しいロータリーのロゴを使う
※ガイドラインの確認
- アニメーションを重ねない

08/13 地区委員会活動の合理化と効率化





ペーパレスの導入

PDF化を前提とした資料の作成

P

PPT (パワーポイント)

- 文字化けしない
※メイリオ・游ゴシック等

- PDF化に適したフォントの使用

※明朝体は使用に注意が必要

123 ページ番号

必ず入れましょう

- アニメーションを重ねない

10/13 地区委員会活動の合理化と効率化



テキスト・画像の重なり
は避けましょう



見やすい手元資料



正しいロゴを
使いましょう

Rotary



District2660



ペーパレスの導入

PDF化を前提とした資料の作成

P

PPT (パワーポイント) 作成

- 文字化けしないフォントの使用
※メイリオ・游ゴシック等

- PDF化に適したフォントの使用
※明朝体は使用に注意が必要

- 正しいロータリーのロゴを使う
※ガイドラインの確認

- アニメーションを重ねない

10/13 地区委員会活動の合理化と効率化



手戻りが一番の手間

Rotary



District2660

提出物の期限厳守

報告書・原稿・資料



締切期限厳守は“チームプレー”

11/13 地区委員会活動の合理化と効率化



まとめ



出欠確認  資料の作成は委員会で完結



CLOUD クラウドサービスの活用



ペーパレスの導入



締切期限厳守

12/13 地区委員会活動の合理化と効率化



横田エレクトからのメッセージ



「チーム全員で
合理化と効率化を目指しましょう」

ご清聴ありがとうございました

13/13 地区委員会活動の合理化と効率化





地区委員会活動における危機管理

RID 2660 2025-26年度
地区危機管理委員会 委員長 延原 健二（大阪大淀RC）

2026年2月7日
RID 2660 2026-27年度のための
地区チーム・ラーニングセミナー

ロータリー章典2. 120. 2

「青少年と接する際の行動規範に関する声明」を守るため、すべてのクラブと地区は、事務総長が設定した虐待およびハラスメントの防止と報告の要件を確実に遵守しなければならない。

1. RI は、虐待およびハラスメントに対して、いかなる違反も法規適用する方針（ゼロ容認方針）を有する。

ロータリー章典26. 120

ロータリーは、ハラスメントのない環境を維持することに力を注いでいる。
すべての会員およびロータリーの会合、行事、または活動に出席または参加する個人は、ハラスメントのない環境を期待すべきであり、安全、礼儀、品格、およびすべての人への尊敬を促す環境を維持するよう援助するものとする。

ロータリー章典2.120.2

5. (青少年に対する) 虐待やハラスメント(嫌がらせ)のすべての申し立ては、この事態の報告を受けてから72時間以内にRIに報告するものとする。72時間以内のRIへの事態報告を怠った場合、地区の青少年交換への参加資格が停止される場合がある。

6. 虐待のいかなる申し立ても、いかなる違反も法規適用するRIの方針(ゼロ容認方針)に則り、即刻、適切な法執行機関(警察等)に報告されなければならない。

ロータリー章典41.050.7

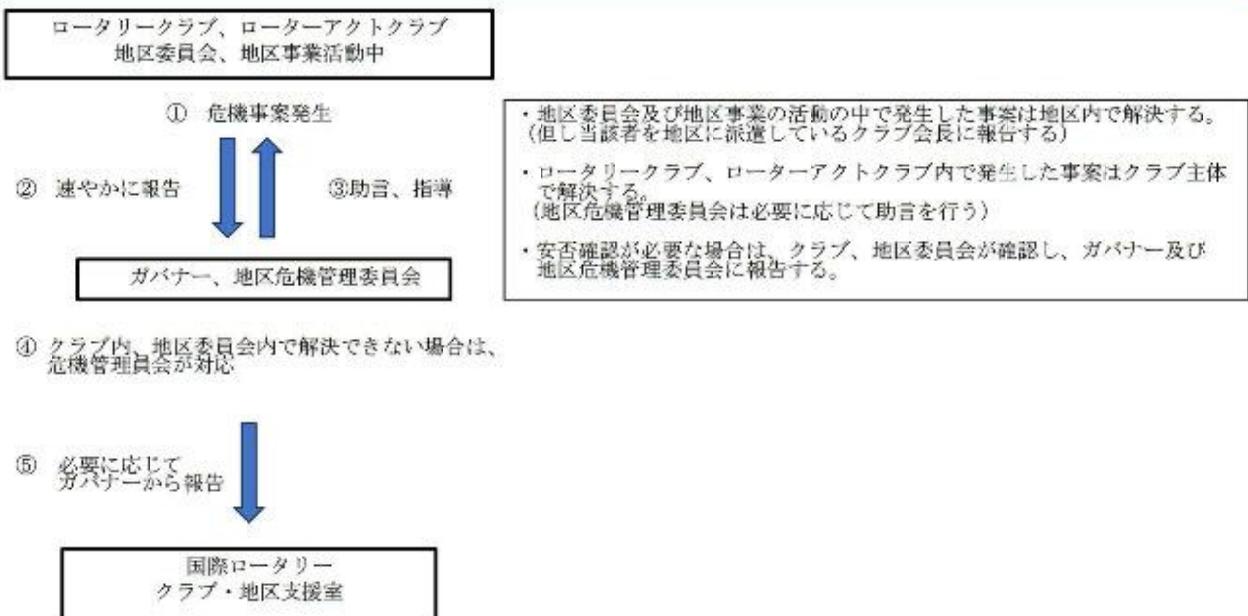
青少年交換プログラムにおいては、事故、死亡、早期帰国、犯罪、虐待やハラスメント(嫌がらせ)の申し立てなど(ただしこれに限るものではない)、すべての事態は、この事態の報告を受けてから72時間以内に、RIに報告するものとする。RI理事会は、個人、クラブ、地区が、適時の報告を故意に行わなかったことを知った場合、クラブを終結させる場合がある。

当地区においては、青少年プログラムへの参加青少年に対しては、成年に達しているか否かにかかわりなく青少年の安全を図るという観点から、72時間ルールの対象は青少年プログラム参加者すべてと取り扱って、RIへの報告など「青少年の保護」に努めることを推奨している。

第5条 (危機事案の報告と対応)

第1条の危機に相当する事案が発生した場合、地区委員会、地区内各ロータリークラブ、ロータリアン及びロータークトクラブ、ロータークターは速やかに危機管理委員会に報告し、必要に応じて助言と指導を受けることを奨励する。

- ・地区委員会及び地区事業の活動の中で発生した事案は地区内で解決する。
(但し当該者を地区に派遣しているクラブ会長に報告する。)
- ・ロータリークラブ、ロータークトクラブ内で発生した事案はクラブ主体で解決する。
(地区危機管理委員会は必要に応じて助言を行う。)
- ・クラブ内、地区委員会内で解決できない事案は地区危機管理委員会が対応する。



第2660地区 青少年のためのハラスメント相談窓口

国際ロータリー第2660地区には「ハラスメント相談窓口」があります。

第2660地区のプログラムに参加する青少年の皆さんが日本にいる間、安心して過ごせるように、何でも相談できる窓口です。もし、皆さんがロータリークラブやロータリークラブの行事に参加したときに、疑問や不安なことがあって、カウンセラーやロータリアン、ホストファミリーに相談しにくいことがあるときは、この相談窓口にメールを送ってください。英語でも日本語でも、大丈夫です。相談員が皆さんのプライバシーを守って対応します。

【第2660地区 青少年のためのハラスメント相談窓口】

専用メールアドレス anytime@ri2660.gr.jp

使用言語 英語または日本語

窓口担当者 ガバナー事務所 杉本 伸鶴巳

相談員 間石 成人 (地区危機管理委員/高槻西ロータリークラブ)

磯田 郁子 (地区危機管理委員/大阪東淀川やまとロータリークラブ)

米山 学友 (米山学友・蘭西)

国際ロータリー第2660地区 緊急連絡携帯カード

青少年に係わるハラスメントが発生した場合は、直ちに危機管理委員会に報告をお願い致します。連絡先は下記の通りです。

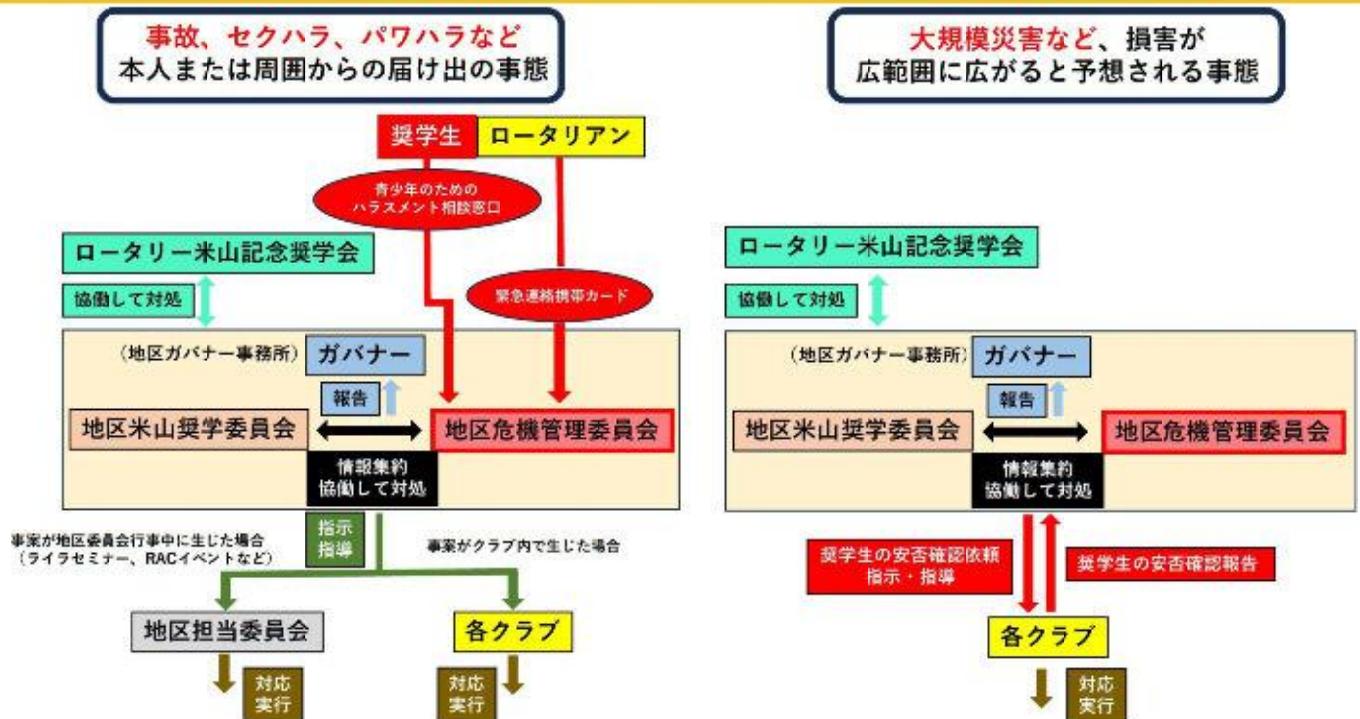
委員長 延原 健二 090-8536-4216
副委員長 間石 成人 090-4272-1636
(応答がない場合、上記電話番号にショートメール(SMS)にてご連絡ください)
ガバナー事務所 電話 06-6264-2660

尚、各クラブ会長・幹事の方々は、下記の名刺サイズの緊急連絡カードを切り取り、常にご携帯ください。



第2660地区 米山奨学生 危機の種別と対応手順

持続可能なインパクトを生み出そう



1. 飲酒についての方針

未成年者(18歳未満)が参加する青少年プログラムにおいては、同行ロータリアン、ローターアクターの飲酒を原則禁止する。飲酒したロータリアン、ローターアクターは、青少年との接触を禁止する。

2. 意識の向上

ロータリー主催のプログラムであることを自覚し、地区委員・参加ロータリアン、ローターアクターが積極的に事業へ関わる必要性を強く認識する。

3. 地区への出向

地区へ出向する人の選定、選出に関し、クラブへ上記の必要性を理解し協力できる人の推薦を依頼する。

4. 毎年度の確認

研修旅行などにおける同行ロータリアン、ローターアクターの義務や注意すべきことなどを、毎年、確認するとともに、危機が生じた際の対応を見直し、周知徹底する。



最後になりますが、
青少年からの申立てについて
その取扱いのキヤッチフレーズを
ご紹介します。



青少年

C and GPS

Catch and Governor Police Separate

申立てを受取る

ガバナーに報告、警察へ相談、被疑者から引離す

ゼロトレ・72・RI
Zero Tolerance policy

11

ハラスメント加害防止三原則



触れない

1対1を
避ける

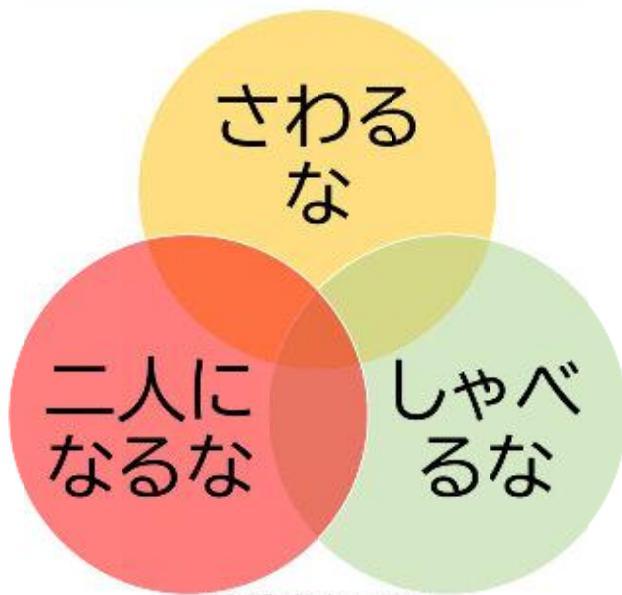
丁寧な
言葉使
い

二人になるときは
委員会メンバーに
事情を説明する

© RUYEM Platform Library

12

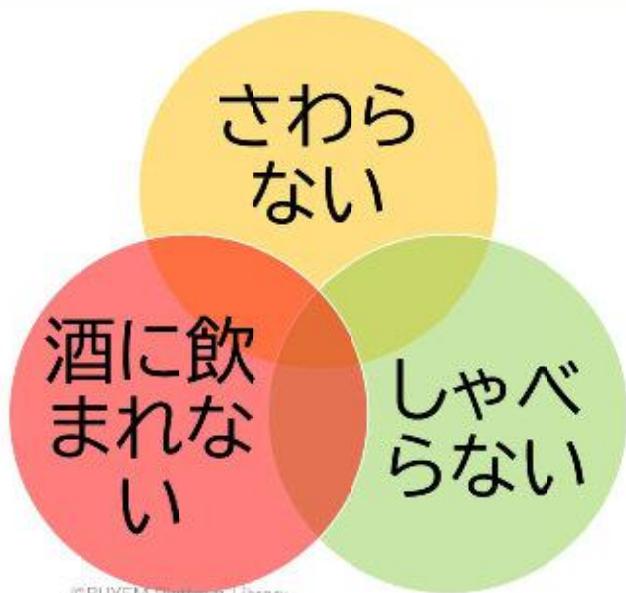
ハラスメント加害防止(おまじない)



©RIJYEM Platform Library

13

ハラスメント加害防止(おまじない)



©RIJYEM Platform Library

14

危機管理マニュアル

改訂 第2版

2028年1月1日

国際ロータリー第2660地区 危機管理委員会



ロータリー 青少年保護の手引き

Rotary

ロータリー

章典

2024年10月

(2024年10月までの理事会決定を含む)

委員会活動に関するお知らせ事項

2026-27年度 地区代表幹事

渋川 了 (東大阪RC)

2026-27年度 地区チームの皆様にお伝えしたいこと

今年度よりRI会長テーマやロゴは廃止されました

- ◇ RIでは、単年度の会長テーマやイニシアチブを廃止し、複数年に渡る行動計画を軸とした会長メッセージが発信されます。
- ◇ 地区チームの活動も、単年度の取り組みでなく、継続性を意識する必要があることをご理解下さい。

2026-27年度 地区委員会とは

- ◇地区委員会の成功には、クラブリーダーとしての経験をもつ熱心な会員の存在が欠かせません。リーダーとしての豊かなスキル、経験、熱意を持つ委員から成る地区委員会は、地区ガバナーによって任命され、クラブや地区の活動や運営を支援します。
- ◇すべての委員会は、地区目標の設定およびその達成に向けた進捗の確認においてガバナー（エレクトやノミニーを含む）と協力します。

詳しくは、ラーニングセンターの地区リーダーシップのコースをご参照ください。

2026-27年度 地区組織・地区行事・委員会 取り決め事項

当面の主なスケジュール

日付	地区行事
3月7日（土）	2026-27年度のための会長エレクトラーニングセミナー（PELS）・・・PETSから名称変更
3月13日（金）	2026-27年度のためのクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー（地区研修・協議会から名称変更）事前説明会
4月4日（土）	2026-27年度のためのクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー
4月30日（木）	2026-27年度 地区委員会活動計画書提出期限（3月末にフォーマットを配信します）

地区委員会について

ガバナー出席	・ガバナー出席を希望する場合は代表幹事へ案内を送信
開催日程	・委員会別協議にて希望提出。3月末までに結果をお知らせ
開催場所	・基本的にガバナー事務所を使用 ・地区専用のZOOMアカウントも利用可能
案内と出欠	・案内原稿の作成・配信、出欠確認は各委員会 ・メークアップカードの準備はありません。 ご入用の場合は事前にお申し出ください。
配布資料	・原稿の作成は各委員会、事前に委員にメール配信 ・印刷が必要の場合のみガバナー事務所へ依頼 (前日迄の原稿提出をお願いします)
議事録	・開催後2週間以内にG事務所へ提出

2026-27年度 ラーニングセンターの活用①

対象委員会	ラーニングセンター推奨プログラム
委員会共通	地区委員会の基本
	地区チームとの協力
	ロータリーのロゴ
	多様性のあるクラブを築く
	ハラスメントの防止と対処
ガバナー補佐	ガバナー補佐の基本
	制定案と決議案の提出方法
	ロータリーの行動計画の実行
クラブ奉仕委員会	地区会員増強委員会(中級)
	インクルーシブなクラブの文化を培う
	多様性のあるクラブを築く
	新クラブを作ろう



2026-27年度 ラーニングセンターの活用②

対象委員会	ラーニングセンター推奨プログラム
職業奉仕委員会	インクルーシブなクラブの文化を培う
国際・社会奉仕委員会	地区国際奉仕委員会(中級) ロータリーの重点分野
ロータリー財団委員会	地区ロータリー財団委員会(中級) ポリオ根絶の重要性 グローバル補助金奨学生のためのオリエンテーション ロータリーの重点分野 補助金管理セミナー
公共イメージ向上委員会	地区公共イメージ向上委員会(中級) ロータリーのブランド ロータリーの公共イメージを築く ロータリーの商標の使用



2026-27年度 ラーニングセンターの活用③

対象委員会	ラーニングセンター推奨プログラム
インターラクト委員会	地区インターラクト委員会(中級)
	青少年プログラム参加者の保護25-26
	奉仕学習(アドバイザー向け)
ロータリアクト委員会	地区ロータリアクト委員会(中級)
	青少年プログラム参加者の保護25-26
	新クラブを作ろう
青少年交換委員会	青少年プログラム参加者の保護25-26

2026-27年度 ラーニングセンターの活用④

対象委員会	ラーニングセンター推奨プログラム
RYLA委員会	就任の準備：地区RYLA委員会
	青少年プログラム参加者の保護24-25
	新クラブを作ろう
学友委員会	地区学友委員会(中級)
	新クラブを作ろう
米山奖学委員会	青少年プログラム参加者の保護24-25
	新クラブを作ろう

2026-27年度 委員会別協議について

◇委員会別協議ではお手元の資料一式を活用されRI会長メッセージと地区年次目標への取り組みについて各委員会にて活発な意見交換をし、委員会活動計画を立案していただきますようお願いします。

ご清聴、ありがとうございました

2026-27 年度 地区組織・地区行事・委員会取決め事項

地区行事スケジュールについて... 2026 年 当面の主要行事など

3月 7 日（土）	2026-27 年度のための会長エレクト・ラーニングセミナー（対象者：各クラブ会長）
3月 13 日（金）	2026-27 年度のためのクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 事前説明会 (対象者：各地区委員長)
4月 4 日（土）	2026-27 年度のためのクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー (対象者：各地区委員会・各クラブ役員・委員長)
4月 30 日（木）	2026-27 年度 地区委員会活動計画書 提出期限（3月末にフォーマットを配信致します）

地区委員会について... ガバナー事務所の負担削減と効率的な委員会開催を計画してください

オブザーバーの設置	<ul style="list-style-type: none"> 委員長が必要と判断した場合は、前委員長にオブザーバーとして委員会に参加いただくことが可能です
委員会開催日程	<ul style="list-style-type: none"> クラブ委員長会議やその他委員会主催行事を含めた年間スケジュールを作成して下さい。 確定スケジュールは地区ホームページでご確認いただけます ガバナー事務所職員の勤務時間外（夜間、土日、休日）には出欠等のご連絡をいただいても対応できません。
委員会開催場所	<ul style="list-style-type: none"> 地区専用の Zoom ミーティング用アカウントを使用したオンライン開催も可能です。※事前にガバナー事務所までお問い合わせください ガバナー事務所会議室を業務時間外（夜間・土日・休日を含む）で使用される場合、委員会が責任を持って消灯・空調オフ・戸締りをしてください ガバナー事務所以外で会議を開催される場合、ガバナー事務所担当職員は派遣出来かねますので、委員会にて必要な準備をご手配ください
委員会案内と 出欠とりまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 案内原稿の作成、委員への配信並びに出欠確認は、各委員会にてお願いします 原則的に地区委員会の会合にはメークアップカードは作成いたしません。
委員会配布資料	<ul style="list-style-type: none"> 各委員会で原稿を作成してください 省力化・省資源化の観点から、ペーパレス化もしくは事前配信による各自での印刷に努めてください
議事録	<ul style="list-style-type: none"> 開催後 2 週間以内にガバナー事務所（各担当職員）までご提出ください

クラブ委員長会議の開催について

クラブ委員長会議	<ul style="list-style-type: none">・2026-27 年度も年度中 1 回のみ開催してください・2026-27 年度のクラブ委員長会議の日程、会場は既にご連絡しています 変更等が発生した場合は、速やかに地区代表幹事までご連絡ください
開催前承認	<ul style="list-style-type: none">・プログラムおよびクラブ宛て案内（外部講師を招く場合は、講師プロフィール） は、原則として開催 3 ヶ月前までに地区代表幹事まで提出のうえガバナーより 事前承認を得てください なお、開催 3 ヶ月前までに提出できない事情がある場合は速やかにご連絡くだ さい（但し、遅くとも開催 2 ヶ月前までの提出を厳守してください）
ガバナー及び 地区役員の出席	<ul style="list-style-type: none">・ガバナー、パストガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニー、ガバナー 補佐、ガバナー補佐エレクトへのご案内は開催前承認を得たのち、ただちに 配信してください
会議案内と 出欠とりまとめ	<ul style="list-style-type: none">・案内は委員会で原稿を作成してください ※ガバナーもしくはガバナーエレクト名で案内を出される場合は、内容につい て事前に地区代表幹事とご相談ください・クラブ及び地区役員への配信はガバナー事務所が手配致します・出欠はガバナー事務所担当職員がとりまとめ、メークアップカードを準備致し ます
配布資料	<ul style="list-style-type: none">・委員会で原稿を作成してください・省力化・省資源化の観点から、ペーパレス化もしくは事前配信による各自での 印刷に努めてください・印刷が必要な場合は、原稿の出力および必要部数のコピーはガバナー事務所（担 当職員）にご依頼ください
開催会場	<ul style="list-style-type: none">・2026-27 年度の開催会場は既に連絡している通りです・原則としてクラブ委員長会議にはガバナー事務所担当職員は派遣致しません 委員会にて必要な準備をご手配ください (やむを得ない事由で派遣が必要な場合、地区代表幹事までご相談ください)
紹介・挨拶	<ul style="list-style-type: none">・開会挨拶はガバナーにご依頼ください（ガバナーは主催者であり、来賓ではあ りませんのでご留意ください）・青少年奉仕部門 委員会については、ガバナーが欠席の場合、青少年奉仕統括 委員会 委員長が開会挨拶を代行する場合もあります・紹介及び席順は「第 2660 地区の席次」(後述)をご参照ください・講評及び閉会挨拶に関する顧問へのご依頼は、3 ヶ月前までに地区代表幹事ま でご連絡ください
報告書	<ul style="list-style-type: none">・行事開催後は必ず、地区ホームページおよびガバナー月信に報告書を掲載して ください

委員会主催行事について

開催前承認

- ・プログラム及びクラブ宛て案内（外部講師を招く場合は、講師プロフィール）は、遅くとも開催 3 ヶ月前（または参加者募集案内文書の配布 1 ヶ月前のいずれか早い方）までに地区代表幹事へ提出のうえガバナーより、また予算書審議対象の事業は地区財務委員会の事前承認を得てください
なお、上記期限までに提出できない事情がある場合は（外部参加者募集がある場合を除く）、速やかにご連絡ください（但し、遅くとも開催 2 ヶ月前までの提出を厳守してください）
特に、登録料を徴収する、募金を目的とする等の行事については、開催及び登録料について必ず早期に地区代表幹事の承認を得てください
- ・当初の予算がない場合でも、有意義な行事企画があれば地区代表幹事または地区財務委員長まで積極的にご相談ください
- ・開催日は（特にガバナーの出席が必要な行事については）、他地区行事、IM オータリーデーと日程が重ならないようにご配慮ください。

報告書

- ・委員会主催行事、あるいはクラブがホストを務める行事において報告書を作成する必要がある場合は、電子媒体で作成してください

その他

- ・「案内と出欠とりまとめ」、「配布資料」、「開催会場」、「紹介・挨拶」はクラブ委員長会議に準じます

クラブ、他地区委員会、および外部への配信文書について

原稿

- ・原稿は予め地区代表幹事とご相談の上、委員会で作成してください
- ・配信に先立ち、地区代表幹事の承認を得てください
- ・原則、ガバナーと地区委員会委員長の連名で配信してください
(青少年奉仕部門は青少年奉仕統括委員長名も必要です)

地区委員によるクラブ卓話について

メークアップ料他

- ・クラブから卓話依頼がある場合、メークアップ料は無用です
- ・クラブからの謝礼（交通費を含む）はありません
- ・卓話者がクラブのニコニコに寄付する必要はありません

地区委員会・クラブ委員長会議の運営と経費…経費節減にご協力ください

飲料

- ・2026-27 年度は、クラブ委員長会議や行事において飲料の配布を行いません。

コピー

- ・やむを得ず多量の印刷や外部での印刷がある場合は、委員会活動費を充当してください。

名刺

- ・原則、委員長の名刺代のみ委員会活動費を充当してください

登録費

- ・地区外で開催されるセミナーや研究会の登録費用は地区代表幹事にご相談のうえ、原則として委員長・副委員長のみ委員会活動費を充当してください

交通費

- ・委員会活動費は充当できません

親睦にかかる経費

- ・委員会活動費は充当できません

2026-27 年度の国際ロータリー第 2660 地区幹部の席次及び紹介順序 (*印はお一人ずつご紹介ください)

- | | |
|-------|---|
| • 地区内 | * 地区ガバナー
* RI 理事
* 元 RI 理事
* パストガバナー（就任年順）
* ガバナーエレクト
* ガバナーノミニー
* ガバナーノミニー・デジグネット
* ガバナー補佐
ガバナー補佐エレクト（グループ紹介）
ガバナー補佐ノミニー（グループ紹介）
* 地区代表幹事
* 地区委員長 |
| • 地区外 | 地区外から役員を招聘する場合は、地区代表幹事までご相談ください |

※ 時間短縮の観点から、地区幹部については、その旨をあらかじめお伝えいただいた上で、ご紹介を簡略化することもご検討下さい。

ガバナー事務所 職員と担当業務... 時間外勤務や休日出勤の削減にご協力ください

- 2026-27 年度の職員担当業務は決定次第、改めてご連絡致します。

委員会情報の発信... クラブへ地区委員会の情報を伝えるツールとして、ふるってご活用ください

- | | |
|--------|---|
| ガバナー月信 | <ul style="list-style-type: none">• 毎月地区ホームページに掲載すると同時にクラブにメール配信致します• 冊子による配布は行いません• 委員会の活動報告や情報など、地区内クラブに提供してください• クラブ委員長会議や委員会主催行事は必ず報告を掲載してください• 原稿は 1000 字程度で作成してください• 原稿はワードで作成のうえ、メールで提出してください• 原稿は月信担当幹事まで送信してください• 写真も歓迎いたしますが、事業広報を目的としたものに限ります（委員会記念撮影写真などは不可） |
|--------|---|

- | | |
|----------|--|
| 地区ホームページ | <ul style="list-style-type: none">• 委員会の活動報告や情報など、地区内クラブに提供してください• クラブ委員長会議や委員会主催行事は必ず報告を掲載してください• 掲載をご希望の場合、地区ホームページ担当職員までご相談ください |
|----------|--|

連絡先・提出先…ガバナーへのご連絡は、以下の各担当までお願いします

地区代表幹事　　：渋川　了　(E-Mail：shibu@aroma.ocn.ne.jp)
ガバナー担当職員：栗正　久美　(E-Mail：kurimasa@ri2660.gr.jp)
Tel.06-6264-2660 Fax.06-6264-2661

ガバナー月信　　担当幹事：　美濃　弘和　(E-Mail：mino-h@eko-h.co.jp)
担当職員：　決定次第、改めてご連絡致します。
Tel.06-6264-2660 Fax.06-6264-2661

地区ホームページ　　担当幹事：　大島　規弘　(E-Mail：noshima@mggn.co.jp)
担当職員：　決定次第、改めてご連絡致します。
Tel.06-6264-2660 Fax.06-6264-2661

その他　　ガバナー事務所代表　(E-Mail：gov@ri2660.gr.jp)
Tel.06-6264-2660 Fax.06-6264-2661

ガバナー事務所会議室

予約　　事前予約が必要です。
ガバナー事務所 各委員会担当職員へご連絡ください。

定員　　大会議室：36名まで
小会議室： 8名まで
打合せスペース：8名まで

*オンライン（ZOOM）で会議を招集される場合は、ガバナー事務所までお早めにご相談ください

地区委員会に関する RI 第2660地区の方針

(2022-23 年度より適用)

1. 目的

地区リーダーシップ・プラン(DLP)の目的の一つは、将来活躍できる「人材の養成」です。その為には地区委員の任期が長期化することなく、出向委員のローテーションを円滑にすすめ、新たな人材の発掘・登用を推進する必要があります。

当地区の将来のリーダーとなる人材を、計画的に発掘・育成して行くためには、各クラブから有望な中堅・若手の会員を幅広く地区委員に選出し、地区委員会活動を通じて長期的に人材の養成に努めて行かなければなりません。当地区の将来にわたるロータリー活動の充実、発展のためには先ず有望な人材の確保が先決です。

各クラブから推薦された地区委員は、原則 3-5 年間の地区活動を通じてロータリー活動に一段と磨きが掛かり、将来の地区リーダーの予備軍、即ち、人材バンクが整備されることになります。ガバナー補佐やその他の地区役員の選考にあたっては、その人材バンクから適任者を選出することも出来ます。

2. 地区委員の任期

- ① 委員長を含む地区委員の任期は、当地区の DLP(District Leadership Plan) 規定では 3 年間となっています。当地区においては、地区委員を経て副委員長或いは委員長へ就任の場合は 1 年間の任期延長を、副委員長を経て委員長へ就任の場合は更に 1 年間の任期延長が可能です。
- ② 同一地区委員会における地区委員の任期は、委員・副委員長・委員長、通算で最長 5 年間とし、各委員会で毎年地区委員のローテーションを計画的に実施することになっています。但し、委員長任期が 3 年と定められた委員会においては、在任期間を通算で最長 7 年間とします。
- ③ 委員任期満了後、また委員長退任後は原則同じ委員会に残留できませんが、前委員長のスキルや知識、経験がどうしても必要とされる場合は、オブザーバーとしてさらに 1 年間委員会に残ることができます。この場合、地区の組織図に掲載されず委嘱状も発行されません。
- ④ ロータリー財団章典により、地区財団委員長の任期は 3 年と定められています。
- ⑤ 各地区委員会の次年度地区委員長・副委員長の選考は、地区ガバナー、ガバナーエレクト及び当年度地区委員長が協議の上、ガバナーエレクトが任命します。

3. 地区委員の公募数

地区委員の総数は各年度のガバナーエレクトが地区活動の状況に応じて定め、各クラブから次の目標数を目途に選出します。

全 ク ラ ブ	…	各 1 名
会員数 100 名以上のクラブ	…	+3 名
会員数 70~99 名のクラブ	…	+2 名
会員数 50~69 名のクラブ	…	+1 名

4. 各クラブにおける地区委員候補者選考方法

- ① 地区ガバナーは各クラブ会長に対し、地区委員候補者の推薦をそれぞれの年度の必要数に応じて毎年10月までに要請します。
- ② 各クラブ会長は、地区委員候補者をクラブ理事会に諮り地区ガバナーに推薦します。
- ③ 各クラブ会長は、地区委員推薦の際に候補者のクラブ及び地区での活動歴、配属希望委員会、その他の必要事項を「地区委員候補者推薦状」に記入し、地区ガバナーに提出します。
- ④ 地区委員候補者の選出条件
 - * クラブの瑕疵なき正会員で3年以上の在籍者
 - * ホームクラブの例会および行事や事業に積極的に出席している者
 - * 委嘱された地区委員の職務を、熱意をもって遂行する意思と能力を有する者
 - * 将来のリーダーとして有望な者
 - * 異なる委員会に連続出向とならない者
 - * 出向歴が継続、非継続に関わらず10年を超えない者
- ⑤ 各クラブから推薦された地区委員候補者の各委員会への配属先は、クラブの希望を参考に地区ガバナー及びガバナーエレクトが地区委員会各委員長と協議のうえ決定します。
- ⑥ 当地区的将来のリーダーとなる人材を計画的に発掘・育成して行くために、また当地区的ロータリー活動の充実と発展のために有望な人材と認める場合、地区委員候補者の選出条件にかかわらず、ガバナーおよびガバナーエレクトがクラブに推薦を依頼する場合があります。

5. 地区顧問団（パストガバナー）

パストガバナーで構成される顧問団は、当地区的各地区委員会活動をより効果的なものにするために、地区委員会から要請があれば適切な助言や指導を行います。地区委員会が顧問団に助言や指導を要請する場合は、ガバナーまたは代表幹事に事前に承認を得る必要があります。

顧問パストガバナーは、地域リーダー（ロータリー財団地域コーディネーター[RRFC]、ロータリーコーディネーター[RC]、ロータリー公共イメージコーディネーター[RPIC]、恒久基金／大口寄付アドバイザー[EMGA]／ポリオ根絶コーディネーター[EPNC]）と各コーディネーター補佐、およびRIラーニングファシリテーター、地区ラーニングファシリテーター、決議・規定審議会代表議員、RIJYEM（一般社団法人国際ロータリー(RI)日本青少年交換多地区合同機構）、ロータリー米山記念奨学会、ロータリー日本財団の各役員です。

6. 地区委員会に関する方針の実施時期

本方針は、2006-07年度に決定し2007-08年度に開始された「地区委員会に関するRI第2660地区の新方針」（ガバナー月信2007年1月号5・6頁掲載）を一部改訂したものであり、2022-23年度より運用を開始するものです。

地区ロータリー財団委員会に関するRI第2660地区の方針

(2026-27年度)

1. 地区ロータリー財団委員会

地区ロータリー財団委員会は、財団に関する経験と熱意あるロータリアンからなり、ガバナーと協力して、クラブに財団に関する研修や情報伝達、財団プログラムへの参加を奨励します。ガバナーは職権上の委員となります。

2. 地区委員の任期

- ① ロータリー財団章典により、地区財団委員長の任期は3年と定められています。
- ② 当地区ロータリー財団委員会は、財団に関する全てのポリオ根絶、ロータリー平和センター、補助金の各プログラム、および補助金や資金モデルに関する全ての知識や最新情報の収集および共有をはかり、効果的なクラブ支援を推進するために、5つの委員会（補助金小委員会、資金管理小委員会、ポリオ・プラス小委員会、資金推進小委員会、奨学金小委員会）を抱合しています。
- ③ 補助金小委員会委員長は、財団補助金に関する地区の中核となり、グローバル補助金の利用促進を図る必要があるため、任期を3年とします（地区ロータリー財団委員会在籍期間 最長7年）。
- ④ 奨学生小委員会委員長は、ロータリー平和フェローシップ委員長を兼任し、グローバル奨学生と共に、選考・受入れ国の代表提唱クラブおよびカウンセラーとの連絡、財団への申請、オリエンテーション、中間/最終報告要件遵守の指導と監督、地区学友委員長と協力して学友活動への奨学生の参加を促すなど継続的な活動を必要とするため、任期を3年とします（地区ロータリー財団委員会在籍期間 最長7年）。
- ⑤ 財団委員会の財団委員長および小委員会委員長は、地区ガバナー、ガバナーエレクト及び当年度地区ロータリー財団委員長が協議の上、ガバナーエレクトが任命します。

3. 地区ロータリー財団委員会に関する方針の策定経緯

本方針は、2013-14年度の未来の夢計画の運用から5年が経過し、地区財団委員会における活動実績を踏まえ「地区ロータリー財団委員会に関する方針」を策定し、2018-19年度より運用を開始するものです。

2026-27（横田孝久DG）年度 主要行事日程一覧（予定）

2026年1月～2026年6月（吉川健之DG年度）

ロータリー財団補助金管理セミナー	2026年1月24日(土)	大阪YMCA国際文化センター
2026-27年度のための地区チーム・ラーニングセミナー	2026年2月7日(土)	シティプラザ大阪
IM第2組ロータリーデー（ホストクラブ：吹田RC）	2026年2月28日(土)	新大阪江坂東急REIホテル
2026-27年度のためのPELS（会長エレクト・ラーニングセミナー）	2026年3月7日(土)	シティプラザ大阪
2026-27年度のためのクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー事前説明会（地区関係者のみ）	2026年3月13日(金)	大阪府社会福祉会館
IM第1組ロータリーデー（ホストクラブ：箕面RC）	2026年3月21日(土)	千里阪急ホテル（予定）
2026-27年度のためのクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー	2026年4月4日(土)	大阪国際会議場
IM第4組ロータリーデー（ホストクラブ：東大阪西RC）	2026年4月11日(土)	シェラトン都ホテル大阪4階「浪速の間」
IM第3組ロータリーデー（ホストクラブ：枚方RC）	2026年4月18日(土)	守口文化センター（エナジーホール）
春のRYLAセミナー（ホスト：大阪大淀RC）	2026年5月4日(月)～6日(水)	The Day Osaka（舞洲）
IM第6組ロータリーデー（ホストクラブ：大阪RC）	2026年5月16日(土)	大阪国際会議場
2026-27年度のための地区会員増強セミナー	2026年5月23日(土)AM	大阪YMCA国際文化センター
IM第5組ロータリーデー（ホストクラブ：大阪心斎橋RC）	2026年5月30日(土)	大阪市立南小学校
国際大会	2026年6月13日(土)～17日(水)	台湾・台北
大阪地区ナイト	2026年6月14日(日)	台北 圓山大飯店

2026年7月～2027年6月（横田DG年度）

クラブ米山委員長・カウンセラー研修会	2026年7月25日(土)	大阪YMCA国際文化センター
クラブ青少年奉仕合同委員長会議	2026年8月29日(土)	大阪YMCA国際文化センター
クラブ職業奉仕委員長会議	2026年9月26日(土)AM	オンライン配信（予定）
公共イメージ向上セミナー	2026年9月26日(土)PM	オンライン配信（予定）
クラブ国際奉仕・社会奉仕合同委員長会議	2026年10月3日(土)AM	大阪YMCA国際文化センター
ロータリー財団セミナー	2026年10月3日(土)PM	大阪YMCA国際文化センター
秋のRYLAセミナー	※2026-27年度は開催なし	—
END POLIO NOW イベント（スポGOMII）	2026年10月18日(日)	ツイン21アトリウム
地区大会	2026年12月11日（金）・12日（土）	リーガロイヤルホテル大阪・大阪国際会議場
地区ロータリー財団補助金管理セミナー	2027年1月30日(土)	大阪YMCA国際文化センター
2027-28年度のための地区チーム・ラーニングセミナー	2027年2月20日(土)	シティプラザ大阪
2027-28年度のためのPELS（会長エレクト・ラーニングセミナー）	2027年3月13日(土)	シティプラザ大阪
2027-28年度のためのクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー	2027年4月17日(土)	大阪国際会議場
春のRYLAセミナー（ホスト：大阪難波RC）	2027年5月予定	
2027-28年度のための地区会員増強セミナー	2027年5月予定	大阪YMCA国際文化センター
国際大会	2027年5月22日(土)～26日(水)	アラブ首長国連邦（ドバイ）
大阪ナイト	2027年5月22日(土)	未定

*年間行事は今後変更や追加される可能性がございます。 ガバナー月信 2026年7月号で再度確認下さい。

◆ IMロータリーデー日程

IM第1組ロータリーデー（ホストクラブ：大阪北RC）	2027年3月20日(土)	未定
IM第2組ロータリーデー（ホストクラブ：大阪東淀ちややまちRC）	2027年3月6日(土)	ホテル阪急インターナショナル
IM第3組ロータリーデー（ホストクラブ：香里園RC）	2027年3月27日(土)	アルカスホール（寝屋川）
IM第4組ロータリーデー（ホストクラブ：大阪柏原RC）	2027年2月13日(土)	シェラトン都ホテル大阪
IM第5組ロータリーデー（ホストクラブ：大阪西RC）	2027年4月10日(土)	ナレッジキャピタル
IM第6組ロータリーデー（ホストクラブ：大阪東南RC）	2027年2月27日(土)	ホテルニューオータニ大阪

2026-2027度 国際口-タリー第2660地区 組織図(案)

